

SICA地域

観光プロジェクト万博招へい事業  
(実施業務)

業務完了報告書

2025年10月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

株式会社国際開発センター (IDCJ)

経開

J R

25-090



# SICA 地域観光プロジェクト万博招へい事業（実施業務）

## 業務完了報告書

### 目次

1.	招へいの概要 .....	1
1.1.	招へいの目的 .....	1
1.2.	招へい期間 .....	2
1.3.	参加者 .....	2
1.4.	日程 .....	3
1.5.	オリエンテーションの実施 .....	3
1.6.	SICA 観光プロモーションイベント .....	4
1.7.	山口県萩市の訪問 .....	11
2.	招へい事業についての所見 .....	18
2.1.	招へい事業の日本（大阪・関西万博並びに萩市）への効果の分析 .....	18
2.2.	招へい事業の SICA 地域への効果の分析 .....	21
2.3.	招へい事業の「SICA 地域持続可能な観光/コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト」及び JICA に対するフィードバック .....	22
3.	添付資料 .....	26
3.1.	詳細計画表（実績版） .....	26
3.2.	オリエンテーション資料 .....	30
3.3.	招へい事業の様子 .....	58

## 表目次

表 1：招へいプログラムの参加者 .....	2
表 2：招へいプログラムのスケジュール .....	3
表 3：山口県萩市行程：2025 年 9 月 29 日(月)・9 月 30 日 (火).....	12
表 4：萩まちじゅう博物館での質疑応答.....	13
表 5：観光プロモーションイベントへの自由回答.....	21

## 図目次

図 1 ポスターのデザイン .....	6
図 2 トレーディングカード裏面 .....	7
図 3 ピンバッジのデザイン .....	8
図 4 スタンプのデザイン .....	8
図 5 JR 大阪駅旅立ちの広場と壁面デザイン .....	9
図 6 JR 大阪駅でのイベントの様子 .....	10
図 7 ポップアップステージ東内とイベントの様子.....	11
図 8：まち歩きで使用した古地図 .....	15
図 9 中米の観光についてのアンケート回答 .....	20
図 10 魅力を感じる観光資源についてのアンケート回答.....	20
図 11 萩まちじゅう博物館 基本計画・行動計画（改訂版）と、まちじゅう博物館推進課資料 「萩まちじゅう博物館推進委員会の役割の拡充について」 .....	24

## 1. 招へいの概要

### 1.1. 招へいの目的

中米統合機構（Sistema de Integración Centroamericana; SICA）は、1991年12月に署名された中米機構憲章改定議定書により、その翌年に設立された国際機関である。加盟国はベリーズ、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国の8か国で、南北アメリカ大陸の9か国が域内オブザーバー、日本を含む18か国・地域が域外オブザーバーとなっている。事務局はエルサルバドルに設置されている。

SICA は地域の経済社会統合を図り、平和・自由・民主主義・開発を達成させることを目的としている。最近の主要テーマは、経済圏としての地域の発展（地域観光開発を含む）、治安悪化に伴う地域一体の治安対策、気候変動対策である。

地域観光開発分野の協力は中米観光統合事務局（Secretaría de Integración Turística Centroamericana; SITCA）が担っている。SITCA はニカラグアのマナグアに設置されており、(1) 地域全体の観光政策の調整・統合の促進、(2) 地域観光のブランド価値向上および市場拡大、(3) 観光の品質管理および競争力の強化、(4) 地域内の観光機関や加盟国の制度面の強化、(5) 観光関連情報や統計データの整備、(6) 国際協力機関やその他の戦略的パートナーとの連携、(7) 観光事業のデジタル化と情報化の推進などの活動を実施している。

SICA、SITCA に加盟する8か国の観光省庁と JICA は、コミュニティによる持続可能な観光地域づくりや観光地経営の能力強化や、観光マーケティング、ブランディング、プロモーション能力強化支援を目的とする技術協力プロジェクトである「SICA 地域持続可能な観光／コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト」を2025年3月に開始した。技術協力プロジェクト関係者が日本の観光産業の取り組みや JICA のコミュニティベースドツーリズム（以下、CBT）開発に関する支援のアプローチについて理解を深めることを目的として、SITCA 事務局と各国の観光関連省庁関係者を大阪・関西万博と日本の地方観光地に招へいすることで、プロジェクトの円滑な始動に貢献し、関係者がプロジェクトの方向性を共有することを目指した。招へいの目的は以下の2点であった。

- 日本の観光関連組織や持続可能な観光地域づくりに取り組む市町村への視察等を通じて、SITCA、SICA 地域の観光省庁が、観光産業における行政の役割や民間企業との協働方法、及び、技術協力プロジェクトを進める上で重要なテーマとなる CBT や「エコミュー

ジラム構想」について理解を深める。

- 大阪・関西万博での機会を捉え、SITCA 及び SICA 地域の観光省庁関係者が、万博会場及びその周辺で SICA 地域の観光地域について PR する場を設け、日本国民の興味や関心等を高めることで、プロジェクト及び大阪・関西万博の機運醸成に寄与する。

## 1.2. 招へい期間

招へいプログラムは 2025 年 9 月 24 日から 2025 年 10 月 1 日の日程で実施した。このうち、9 月 25 日のプログラム（愛知県で開催されていたツーリズム EXPO ジャパン 2025 観光大臣会合への参加）については、被招へい者のうち、パナマからの参加者が SICA/SITCA を代表して参加した。なお、フライトの関係で来日日程が前倒しとなったニカラグアからの参加者も 9 月 25 日のプログラムに同行した。

## 1.3. 参加者

本招へいプログラムには表 1 に示す合計 10 名が参加した。

表 1 招へいプログラムの参加者

No.	氏名	所属	職位
1	ホスエ・カルバーヨ Josue Carballo	ベリーズ観光・青年・スポーツ・ディアスポラ関係省 Ministry of Tourism, Youth, Sports & Diaspora Relations	観光担当責任者 Chief Tourism Officer
2	ハリス・ウィットベック Harris Whitbeck	グアテマラ観光庁 Instituto Guatemalteco de Turismo	長官 Director General
3	アレハンドラ・ドゥラン Alejandra Durán	エルサルバドル観光省 Ministerio de Turismo de El Salvador	エルサルバドル観光公社長官 Directora Ejecutiva CORSATUR
4	ヤディラ・ゴメス Yadira Gómez	ホンジュラス観光省 Secretaría de Turismo de Honduras	大臣 Ministra
5	マラ・ストッティ Mara Stotti	ニカラグア観光庁 Instituto Nicaragüense de Turismo	共同代表 Co-directora
6	アルベルト・ロペス Alberto López	コスタリカ観光庁 Instituto Costarricense de Turismo	ジェネラルマネージャー Gerente General (Viceministro)
7	グロリア・マリア・デ・レオン・ズビエタ Gloria María De León Zubieta	パナマ観光庁 Autoridad de Turismo de Panamá	長官 Administradora General
8	リヒア・ミランダ Ligia Miranda	中米観光統合事務局 Secretaría de Integración Turística Centroamericana	事務局長 Secretaria Ejecutiva
9	ボリス・イラエタ	中米観光プロモーション機構	事務局長

No.	氏名	所属	職位
	Boris Iraheta	Agencia de Promoción Turística de Centroamérica	Secretario General
10	エルネスト・モンヘ Ernesto Monge	中米観光統合事務局 Secretaría de Integración Turística Centroamericana	統合・協力コーディネーター Coordinador de Integración y Cooperación

出所：IDCJ

なお、ドミニカ共和国からは、観光省州イニシアチブ局長の Yira Vermenton 氏が参加予定であったが、ドミニカ共和国側の都合により直前に来日を取りやめとなった。従って、本来 11 名を招へい予定であったところが 10 名を招へいすることになった。また、招へいプログラム全体を通じて、「SICA 地域持続可能な観光／コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト」の櫻井真美専門家（チーフアドバイザー）と佐藤知美専門家（研修管理/業務調整）が同行した。その他、ホンジュラスとエルサルバドルからは自国負担にて同行者が合計 3 名来日したほか、下記に示す観光プロモーションイベントにおいては在神戸パナマ領事館および、大阪関西万博に出展しているホンジュラス、ドミニカ共和国、パナマ、グアテマラのパビリオンからも協力を得た。

#### 1.4. 日程

本招へいプログラムは表 2 に示すスケジュールで実施した。詳細は添付資料 3.1. 詳細計画表（実績版）のとおり。

表 2 招へいプログラムのスケジュール

日程	行程	宿泊地
9/24 (水)	(パナマ、ニカラグア) 成田空港／羽田空港到着	東京都内
9/25 (木)	(パナマ、ニカラグア) 午前：東京から名古屋に移動 午後：Tourism Expo Japan 2025 大臣会合出席、観光庁表敬 夕方 名古屋から東京に移動 (その他参加者) 成田空港/羽田空港到着	東京都内
9/26 (金)	午前：JICA 本部表敬 午後：在京大使館とのレセプションランチ、その後大阪に移動 (パナマ) レセプション後離団、帰国へ	大阪市内
9/27 (土)	午前：大阪城観光 午後：JR 大阪駅での観光プロモーションイベント	大阪市内
9/28 (日)	終日万博会場 午前：関西パビリオン、日本館視察 午後：ペルー館、コモンズ視察 万博会場内ポップアップステージ東内にて観光プロモーションイベント	大阪市内

9/29 (月)	午前：新大阪から新山口を經由し山口県萩市に移動 午後：萩博物館、堀内武家屋敷、波多野窯訪問	萩市内
9/30 (火)	午前：浜崎まち歩き、萩市長表敬 午後：道の駅視察、山口宇部空港から羽田空港へ国内線で移動	東京都内
10/1 (水)	成田空港／羽田空港に移動、出発	-

出所：IDCJ

「1.2 招へい期間」で既述したとおり、パナマからの参加者は9月24日に来日し、9月26日に離団した。その他の参加者はプログラムの全行程に参加した（ニカラグアの参加者は9月24日に来日、その他の参加者は9月25日に来日）。

### 1.5. オリエンテーションの実施

本招へいプログラムの背景と目的、行程、期待される成果などを説明するためのオリエンテーションを9月3日の朝（中米時間の9月2日夕方）に実施した。その中でも、9月27日と28日に実施されるSICA地域の観光プロモーションイベントの概要や制作グッズの説明（下記で詳述するトレーディングカードやピンバッジ、オリジナルスタンプ）、プロモーションイベントの際の各国への協力事項などへの説明に時間を割いた。合わせて、各国が各視察先を訪れる際の推奨の手土産の個数の案内や、大阪関西万博で視察したいパビリオンの希望を聞くなど、細かい点まで被招へい者へ配慮するように努めた。オリエンテーションには被招へい者だけではなく、実務を担う担当官も各国から多数参加した。オリエンテーション資料は添付資料3.2のとおり。

### 1.6. SICA 観光プロモーションイベント

「1.1 本招へいの目的」で記載した、大阪・関西万博での機会を捉え、被招へい者が万博会場及びその周辺でSICA地域の観光についてPRする場を設け、日本国民の興味や関心等を高めるといった目的を念頭に、観光プロモーションイベントの準備と実施を進めた。以下では1) 観光プロモーショングッズや素材の制作、2) JR大阪駅での観光プロモーションイベント、3) 大阪関西万博会場での観光プロモーションイベントについて順に説明する。

#### 1.6.1. 観光プロモーショングッズや素材の制作

SICA地域の観光をPRするために観光プロモーションイベントで使用する素材として、ポスター、ビデオの準備および、参加者に配布するトレーディングカード、ピンバッジ、オリジナルスタンプの制作を行った。

- ポスター

SICA 加盟 8 か国および SICA/SITCA の合計 9 枚のポスターを準備した。ポスターで使用する写真は中米観光プロモーション機構（CATA）が提供した各国の写真から、観光資源の種類やバランスなどを考慮しながら JICA、JICA 専門家、調査団で議論の上選定した。CATA に加盟していないコスタリカについてはコスタリカ観光庁が提供した写真より選定した。



ベリーズ



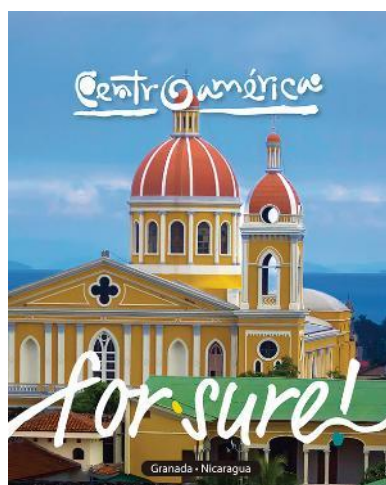
グアテマラ



エルサルバドル



ホンジュラス



ニカラグア



コスタリカ



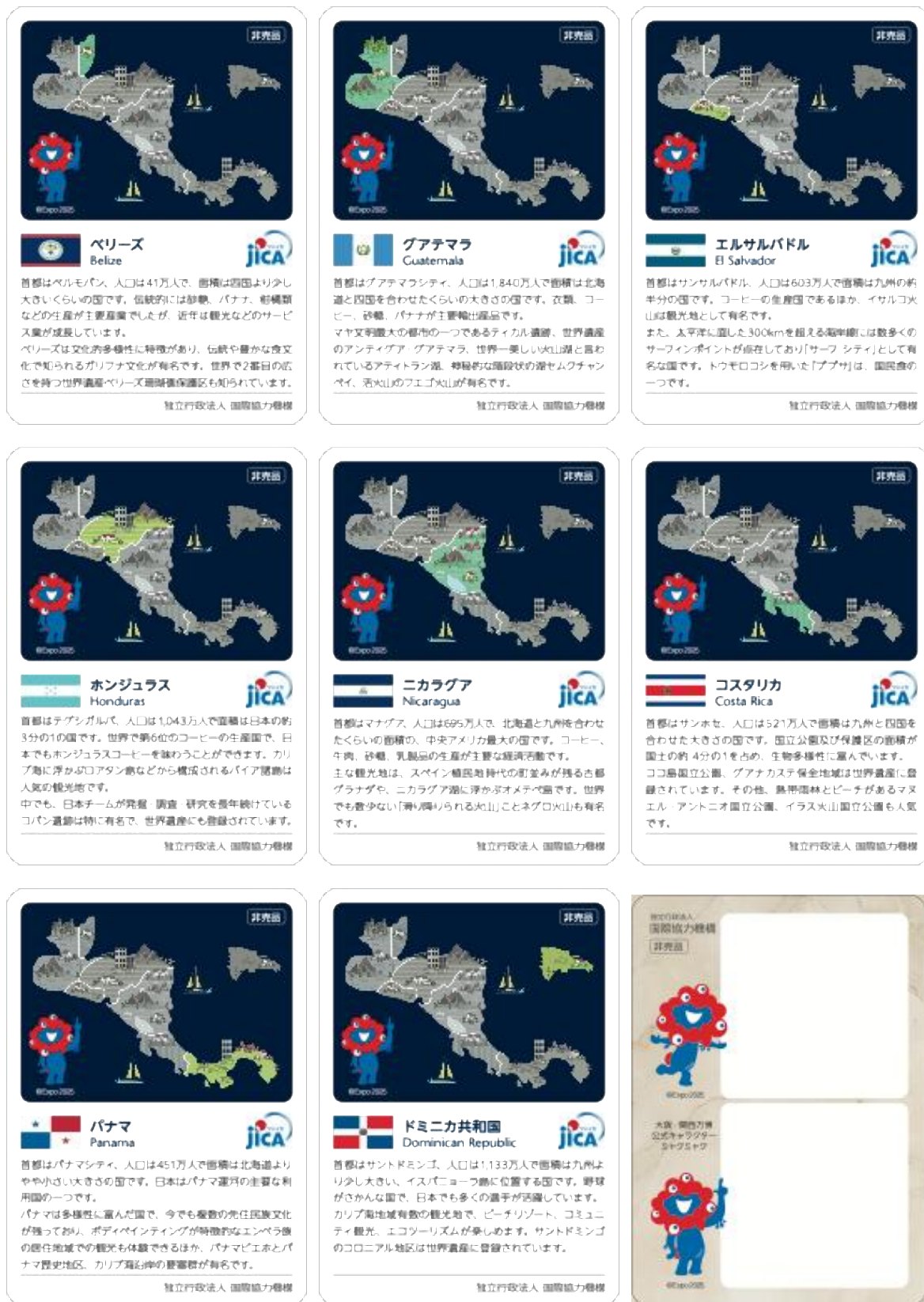
図 1 ポスターのデザイン

- ビデオ

SICA 加盟 8 か国より提供を受けた各国の観光プロモーションビデオを活用し、20 分程度のプロモーションビデオを作成した。このビデオは 9 月 27 日の JR 大阪駅での観光プロモーションイベントの際に繰り返し投影した。

- トレーディングカード

観光プロモーションイベントへ訪れた参加者に配布するためのトレーディングカード（6.3cm×8.8cm サイズ）を制作した。ポスターと同様に SICA 加盟 8 か国と SICA/SITCA の 9 種類のカードを準備した。カードの表面はポスターと同じデザインの写真に SITCA、CATA、JICA のロゴを配置した。裏面は各国の位置を記した中米の地図と、各国の一般情報や観光地を含む紹介文を記載した。SICA/SITCA のカードについては裏面をオリジナルスタンプを押すための台紙とした。各カードには大阪関西万博の公式キャラクターであるミャクミャクを配置し、日本国際博覧会協会からデザインの承認を得た。なお、各国および SICA/SITCA の紹介文については英訳のうえ SITCA と CATA に提示し、先方からのフィードバックを得たうえで作成した。トレーディングカードは観光プロモーションイベントでの配布用として各 2,000 枚ずつ準備した。



注：左上からベリーズ、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国、SICA/SITCAのトレーディングカードの裏面  
出所：IDCJ

図 2 トレーディングカード裏面

- **ピンバッジ**

観光プロモーションイベントへ訪れた参加者へ配布するためのオリジナルピンバッジを制作した。ピンバッジには SITCA、JICA、ミャクミャクのロゴを配置し、トレーディングカードと同様に日本国際博覧会協会からデザインの承認を得た。制作の過程で SITCA および CATA からデザイン案へのコメントや承認を得た。ピンバッジは 2,000 個制作した。



出所：IDCJ

図 3 ピンバッジのデザイン

- **オリジナルスタンプ**

大阪関西万博ではスタンプパスポートに各パビリオンオリジナルのスタンプを押すことが人気であるため、この観光プロモーションイベントでも限定のスタンプを 2 種類準備した。一つ目は SITCA と本イベントタイトルである「セントロアメリカ 8」を配置したスタンプ、二つ目は JICA とミャクミャクを配置したスタンプである。制作にあたってはトレーディングカードやピンバッジと同様に SITCA と CATA からデザインやスタンプの色についてコメントを得た。上述のとおり、SICA/SITCA のトレーディングカードの裏面にスペースを設け、スタンプを押す仕様とした。



出所：IDCJ

図 4 スタンプのデザイン

### 1.6.2. JR 大阪駅での観光プロモーションイベント

9月27日（土）にJR大阪駅のイベントスペースである「旅立ちの広場」にてSITCAの観光プロモーションイベントを実施した。11時から17時頃まで開催し、上述した観光プロモーショングッズであるトレーディングカードとピンバッジを11時、13時、15時の3回にわけて先着300名ずつに配布した。15時の回には被招へい者に登壇してもらい、300名のうち100名分の各国のトレーディングカードとピンバッジを訪問した人々に配ってもらうとともに、訪問者からの写真撮影にも応じてもらった。また、各国の観光の魅力をPRする短いスピーチも被招へい者が一人ずつ行った。下記の写真のとおりイベントスペースにはバックパネルを貼付できる場所があり、本イベントオリジナルの壁面デザインを施した。デザイン選定の際にはSITCAとCATAからコメントを得た。



出所：IDCJ

図 5 JR 大阪駅旅立ちの広場と壁面デザイン

1.3 で記載したとおり、イベント実施の際、パナマについては在神戸パナマ領事館副領事が、ドミニカ共和国についてはドミニカ共和国パビリオンの担当の参事官が被招へい者とともに登壇した。観光プロモーショングッズの配布については、15時の回は被招へい者が直接訪問者に手渡ししたり、各国の観光をPRする時間を設けたりしたため多少時間がかかったもの

の、その他の配布回については配布開始時間前に並ぶ参加者も多数おり、事前に準備した個数を 20-30 分程度で配布し終わった。



出所：IDCJ



図 6 JR 大阪駅でのイベントの様子

### 1.6.3. 大阪関西万博内での観光プロモーションイベント

9月28日（日）に大阪関西万博内のポップアップステージ東内にて観光プロモーションイベントを実施した。当初、万博会場内でのイベント実施場所の候補としては「フェスティバル・ステーション」が挙げられており、JICA がイベント実施申請を行ったものの採択がされなかった。従って万博会場外での実施を見据え、上記の JR 大阪駅でのイベント実施準備を進めていた。一方で本招へい事業の説明を各国の駐日大使館に説明する過程で、ホンジュラスが同日にポップアップステージ東内のスペースを予約済みであること、自国でイベントを開催しようとしていたが、諸事情により難しいため、本招へい事業で使用して構わないという点を駐日ホンジュラス大使館に確認し、万博内でも観光プロモーションイベントを実施することで準備を進めることになった<sup>1</sup>。

イベントは 15 時半から 17 時の間に開催した。実施日が万博の閉幕まで一か月を切った日曜日と多数の来場者数が見込まれること、ポップアップステージ東内が、万博内でも特に人気があるフランス館やアメリカ館に隣接しており、周辺が大変混雑していること、限定のイベントグッズを配布することなどから、日本国際博覧会協会からは見物客が殺到することへの懸念が示された。従って、見物客が行列しないよう対策を十分に練ったうえで実施した。具体的には会場設営後、イベントの参加整理券を限定 100 枚で配布し、その整理券を持ってい

<sup>1</sup> このような状況であったため、本イベントはホンジュラスパビリオンによる自主催事イベントという建付けとなった。

る人だけがポップアップステージ東内でのイベントへ参加できる仕組みとした。イベントの実施内容は前日の JR 大阪駅で実施したものと同等で、被招へい者に各国の観光資源について短いスピーチをしてもらうとともに、訪れた参加者に直接トレーディングカードとピンバッジを配布してもらったり、一緒に写真を撮る時間を設けたりした。トレーディングカードとピンバッジは万博会場での配布用として約 1,000 セットずつ準備していたが、上述の事情により配布個数を制限する必要があった。イベントでは約 100 セットを参加者に配布し、残りのセットは万博に出展している SICA 加盟国（ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラス、パナマ、ドミニカ共和国）のパビリオンで配布してもらうこととした。



出所：IDCJ



図 7 ポップアップステージ東内とイベントの様子

### 1.7. 山口県萩市の訪問

本招へい事業の目的の一つは、被招へい者が日本の地方観光地の視察によるエコミュージアム構想を活用した CBT の取り組み、観光地マネジメント、地方誘客施策について理解を深めることであった。プロジェクトチームは同目的を達成するため、山口県萩市への訪問を提案した。

プロジェクトチームは JICA 技術協力プロジェクトを通じて北海道大学観光学高等研究センターとともに、ペルーとアフリカのジンバブエにおいてエコミュージアム構想による CBT 開発を実践してきた経験を有する。そのため、北海道大学観光学高等研究センターの西山教授から山口県萩市の訪問と西山教授を含めた講師陣からの説明について快諾を得ており、萩市でのプログラムを計画・実施するにあたり山口県萩市及び講師陣と円滑なコミュニケーション

ンとエコミュージアムに関する事前の情報提供<sup>2</sup>とフォローアップを行うことが可能であることから、同市を選定・提案した。

なお、山口県萩市を訪問した 2025 年 9 月 29 日、30 日の二日間、西山教授は別案件渡航のため本事業への参加が難しく、岡山理科大学の八百板季穂准教授が行程全体の統括を務めた。八百板准教授は西山教授とともにエコミュージアム手法を通じた観光開発支援で協働した経験を有する。

萩市におけるプログラム行程および実績は表 3 に示す通り。

表 3 山口県萩市行程：2025 年 9 月 29 日(月)・9 月 30 日(火)

時間	行程
2025 年 9 月 29 日(月)	
7:40-12:00	移動(大阪宿泊先→新大阪駅→新山口駅→萩市)
12:00	萩到着
12:00-13:00	昼食(萩博物館レストラン)
13:00-15:10	萩博物館(コアミュージアム)：NPO 萩まちじゅう博物館 山本明日美氏の解説
15:10-16:15	堀内武家屋敷まち歩き：元萩博物館館長清水満幸氏の解説
16:15-17:15	萩焼波多野指月窯見学：山口県指定萩焼無形文化財認定 波多野善蔵氏の解説
17:30	チェックイン(萩本陣、萩ロイヤルインテリジェントホテル)
18:15	夕食
2025 年 9 月 30 日(火)	
8:40	ホテル出発
9:00-10:30	浜崎まち歩き(浜崎しっちゃん会ガイドの案内)
11:00-11:50	萩市長表敬(明倫学舎 特別応接室)
11:50-12:30	昼食(明倫学舎 特別応接室)
12:30	山口宇部空港へ出発
12:45-13:15	道の駅「萩往還」見学
14:20	山口宇部空港到着

出所：IDCJ

### 1.7.1. 萩博物館(コアミュージアム)

はじめに、八百板准教授が山口県萩市で用いている「エコミュージアム構想」について概要説明を行った。エコミュージアムとは、一定の地域を「屋根のない博物館」と見立て、地域住民が主体となってその地域で受け継がれてきたおたから(自然、文化、生活様式等の資源)を

<sup>2</sup> 西山教授の許可を得て、北海道大学観光学高等研究センターが JICA 研修生受け入れ用に作成したビデオ資料を 9 月 3 日に実施したオリエンテーション資料でも紹介した。「萩の文化的景観とエコミュージアム」スペイン語字幕版：

<https://youtu.be/Fd85ZOYJXJ8?si=jLNoCzWqPtVKM2mc>

持続的な方法で保全・展示・活用していく考え方である。この活動を通じて、来訪者がその地域の歴史、文化の価値を享受することに加えて、主体となる地域住民がそれらの価値への理解を深め、地域社会の発展に寄与することを目的としている。

続いて、NPO 萩まちじゅう博物館の山本氏が、エコミュージアム構想に基づいた萩まちじゅう博物館の運営について、より具体的に住民・NPO 萩まちじゅう博物館・行政のこれまでの取り組みや連携について講義を行った。

講義を終えた後、被招へい者 9 名中 8 名から質問があった。主な質疑応答内容は下表の通り。

表 4：萩まちじゅう博物館での質疑応答

質問	回答
失われていく生活様式や食文化を保護する取り組みはあるか	日本の法律では生活様式や食文化を「変えない」ことを規定する法律はない。しかし、日本の伝統を守ることを目的とした民間や草の根レベルでの活動はあり、食文化を伝えるための発酵食品の開発・普及や、着物を着て来訪した人には特別なサービスを行う等の事例がある。
NPO 萩まちじゅう博物館の会員数の年代別構成、実際の参加割合（関連した質問として、高齢者や外国籍の住民の活動内容について）	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 会員数は 200 名だが、稼働している実態はばらつきがある。毎週のようにボランティアを行う方もいれば、イベント時等の年に数回の方、また登録のみという方もいる。登録している世代は仕事を終えたりタイア世代が多い。</li> <li>- 高齢者の方は、自分の得意分野や希望される活動を元に班で活動いただいている。例えば、外国語講師を務めていた方には外国語班に参加してもらっている。</li> <li>- 萩市在住の外国籍の方は日本文化に詳しい、日本語も堪能な方が多いことから、萩まちじゅう博物館の活動に参加するにあたっての制約等は生じていない。</li> </ul>
萩市全体の国外・国内訪問者数や、宿泊率について	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 正確な数値は回答できないが、外国人訪問者数は全体の 1 割にも満たない<sup>3</sup>。</li> <li>- 山口県萩市を訪問する外国人割合は、欧州が多い。</li> </ul>

<sup>3</sup> 2024 年度の実績では、観光客数は 3,892,992 人でうち宿泊客数は 307,468 人。外国人延べ宿泊客数は 6,936 人である。一般社団法人萩市観光協会、山口県萩市「観光の現状」より。

質問	回答
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 萩市の観光動向の課題としては、季節により訪問者数のばらつきがあること（春、秋が混雑）と、宿泊者数が少なく日帰りが多いことである。</li> </ul>
住民・NPO・行政が主体の取り組みとあるが、民間企業の参入割合について	最近では民間企業の参画も見られる。2025年10月から11月にかけて「萩まちじゅう博覧会」を開催するが、その中のプログラムでは一部民間企業が参加している。地元の食品を使用したプログラムや着物レンタルといったプログラムを実施予定である。

出所：IDCJ

当初、萩まちじゅう博物館の講義・質疑応答予定は13時から14時半を予定していたが、前述した通り多くの被招へい者から質問があり質疑応答時間を延長した。質疑応答の中で、被招へい者からは「自国でも失われていく生活様式があり、日本や萩市での取り組みを参考にしたい」、「自国の観光セクターでも宿泊者数の割合を伸ばしたいと考えている」等のコメントがあり、自国と比較を行いながら受講している様子が見受けられた。

### 1.7.2. 堀内武家屋敷まち歩き

堀内武家屋敷まち歩きの講義では、1976年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された萩市堀内地区周辺を江戸時代の城下町得絵図（下図）を見比べながらまち歩きを行うことで、江戸時代に形成された街並みが大きく改変されていないことをガイドの清水氏に解説いただいた。清水氏による案内のもと、萩博物館を出発し市立萩西中学校に至るまでの道を歩き、基礎石や土塀を見ながら江戸時代の道幅を知ることができるポイントや江戸時代の武家屋敷の広大な敷地について解説頂いた。

加えて、本まち歩きを行う上で住民（小学生）との交流を通じて歴史的な価値の再発見があったこと、またガイドを行う上で参加者と双方向のコミュニケーションを行うべくクイズ形式で参加を促す等の工夫を学ぶことができた。



出所：萩まちじゅう博物館ウェブサイト

図 8：まち歩きで使用した古地図

### 1.7.3. 萩焼波多野指月窯見学

日本の重要無形文化財保持者（人間国宝）制度を紹介すべく、山口県指定萩焼無形文化財認定を受けている波多野善蔵氏の萩焼波多野指月窯を訪問・見学した。

波多野善蔵氏からは歓迎の挨拶をいただくとともに、昔ながらの制作（土づくり、成形、薪割等）や登り窯を紹介頂いた。その後、登り窯の見学、蹴ろくろを用いた形成を一部実演いただいた。また、被招へい者および同行者は茶器で抹茶を提供いただき、茶の湯の世界で有名な萩焼を体験することができた。

### 1.7.4. 浜崎まちあるき

浜崎は江戸時代に萩城下の港町として栄えた地域である。現存する歴史的な町並みやその保存・活用を行う「浜崎しっちよる会」の活動が基盤となり、2001年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

浜崎しっちよる会のガイド2名の案内のもと、被招へい者は2グループに分かれてそれぞれのガイドから浜崎エリアの案内を受けた。通常2時間かかるまち歩きコースだが、プログラム時間の関係上、以下の数点に限定して解説・案内頂いた。

- 旧萩藩御船倉…江戸時代に藩主の御座船、軍船を格納していた倉。屋根が付いた状態の

御船倉が残っているのは日本全国でこの一棟だけである。

- 旧小池家土蔵…江戸時代、港から荷揚げした荷物を保管した蔵。また、御船（旧船）が同蔵に展示されている。
- 中村船具店…古い民具、実際に漁に用いられていた漁具を展示している。民具や漁具について解説をいただくとともに、店主のご厚意で座敷に上がり、和室（屏風、仏壇や床の間）の見学をさせていただいた。
- 旧山中家住宅…背の高い外観が特徴の昭和初期の町屋。時間の関係上住宅内の見学はできなかったが、浜崎エリアの土産物の展示を見学した。
- 住吉神社…住吉大明神社に祈ったところ、浜崎の船だけが無事であったことから、1655年に摂津国堺（現在の大阪・兵庫）の住吉大社から勧請したとされる。浜崎における住吉神社の関係を解説いただくとともに、社殿の見学を行った。

#### 1.7.5. 萩市長表敬

浜崎まちあるき後、萩市長田中文夫氏を表敬した。はじめに田中市長から歓迎のあいさつ、および萩市で取り組んでいる萩まちじゅう博物館の概要についてお話をいただいた。その後、JICA 経済開発部より被招へい者9名の紹介を行い、被招へい者各人より二日間の萩市内視察を通じて受けた印象を述べた。

#### 1.7.6. 道の駅「萩往還」

地域の特産品、土産物の販売・促進の一例として道の駅「萩往還」を見学した。道の駅は、前述した地域経済に寄与する一面がある一方で、以下の3つの機能を有すること、また道の駅を設置するのは市町村単位であり、国土交通省に申請・登録が必要であることを八百板准教授より解説いただいた。

1. 休憩機能：利用者が24時間無料で利用できる駐車場、トイレを有すること
2. 情報提供機能：道路情報、観光情報、緊急医療情報を提供すること
3. 地域連携機能：文化教養施設、観光レクリエーション施設等の地域振興施設で地域と交

流を図ること

萩往還では、特産品販売所の物産館に萩名物の夏みかんを用いたお菓子、地酒、干物、蒲鉾を販売している様子を見学した。

## 2. 招へい事業についての所見

### 2.1. 招へい事業の日本（大阪・関西万博並びに萩市）への効果の分析

#### 2.1.1. 大阪・関西万博への効果の分析

本招へい事業では、招へい者自身が観光プロモーションイベントの登壇者として参加し、日本において中米 8 か国合同での初めての観光プロモーションイベントの開催が実現した。万博会場においては、万博に出展している中米の国々と連携し、各国のコモンズブースで観光プロモーショングッズを配布してもらうなどの相乗効果があったほか、万博に出展していないエルサルバドル、ニカラグア、コスタリカを含めた中米の国々との交流が実現したといえる。

1.6 に記載したとおり、大阪関西万博での観光プロモーションイベントは訪問客が殺到するのを避けるために参加人数を絞っておこない、また JR 大阪駅、大阪関西万博ともに、イベントに関する事前の SNS による告知は回数、媒体を絞っておこなった<sup>4</sup>。そのような中でも特に JR 大阪駅での観光プロモーションイベントは多種多様な人々に広範にリーチすることにより、中米諸国の認知度向上に寄与したと考えられる。当日会場に足を運んだ人々はもともと中米に関心がある人というよりも周囲をたまたま通りかかった人々であった可能性が高いが、多くの人にとって中米は物理的にも心理的にも日本から遠く、各国の違いも分かりづらい地域であると想定されるため、各国の被招へい者による自国の PR やトレーディングカードに記載した各国の基本的な情報は、中米と一口にいっても多様かつ特徴的な観光資源を有する国々であるということや、多くの国が長年日本と友好的な関係を有している点についての理解促進にはつながったのではないかと思われる。

なお、大阪関西万博での観光プロモーションイベントは大阪関西万博の公式 You Tube チャンネルで配信されている<sup>5</sup>。また、JR 大阪駅での観光プロモーションイベントの様子が記事となり、各種メディアへ掲載されたことから、情報発信による継続的な効果も見込まれる<sup>6</sup>。

---

<sup>4</sup> 本招へい事業開始の約一か月前に「JICA アフリカホームタウン構想」の問題があったため、本招へい事業でも JICA の名前を前面に出す広告は控えたという側面もある。

<sup>5</sup> <https://www.youtube.com/live/QBKekD9-Td0?si=edWC9o4FkZVnbNFE>

<sup>6</sup> 「【大阪・関西万博】中米 8 か国×JICA『Centroamérica 8 合同観光 PR イベント』」というタイトルで、以下のメディアに掲載。

- cocotte : [https://coco-tte.jp/2025/10/post\\_502937.html](https://coco-tte.jp/2025/10/post_502937.html)

- SmartNews : <https://l.smartnews.com/m-6mb7AaIM/bHoB4L>

以上のことから、本招へい事業は物理的、心理的に距離のある中米地域に対する理解促進、関心喚起に貢献することにより、今後の中米諸国への日本人観光客の誘致や両国の国際交流の基盤づくりに寄与したとともに、大阪・関西万博の機運醸成の一助となったと考えられる。

なお、JR 大阪駅でのプロモーションイベントでは来場者に主に中米の観光に関する印象を聞くためにアンケートを実施した。イベントの主旨が被招へい者によるプロモーショングッズの配布であったため、イベントの感想を聞くというよりは、普段中米の観光に持っているイメージや、回答者がどういった観光を魅力に感じるかを聞くことで、今後 SICA 地域へ日本人観光客を誘致していくための参考となることを目指した。回答総数は 120 で、回答結果は以下の通りである<sup>7</sup>。

- 本イベントをどのようにして知ったか：

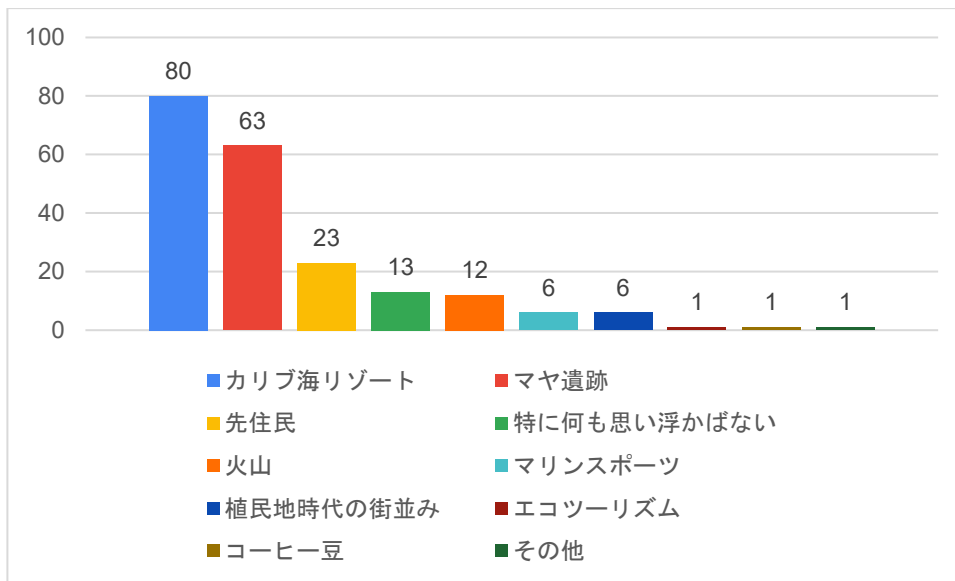
圧倒的多数が「たまたま通りかかったため」と回答（94 名、78.3%）。インスタグラムと X を挙げたのがそれぞれ 6 名ずつ（5%）であった。

- 中米の観光といえば何を思い浮かべるか：

複数選択可能とし、最も多い回答がカリブ海リゾート（80 名）、次にマヤ遺跡（63 名）、先住民（23 名）が続いた。回答者において、中米といえばカリブ海リゾートというイメージが強いということがわかるとともに、例えばコスタリカが推進しているエコツーリズムやエルサルバドルが推進しているマリンスポーツへの回答数が 1 ずつしかないなど、国レベルで推進している観光資源への認知度は日本においてはまだ低そうである。「特に何も思い浮かばない」と回答した人も 13 名（全体の 10.8%）いた。

- 
- dmenu ニュース：<https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/cocotte/trend/cocotte-502937>
  - livedoor ニュース：<https://news.livedoor.com/topics/detail/29744800/#>
  - msn ニュース：<https://www.msn.com/ja-jp/news/opinion/%E5%A4%A7%E9%98%AA-%E9%96%A2%E8%A5%BF%E4%B8%87%E5%8D%9A-%E4%B8%AD%E7%B1%B38%E3%81%8B%E5%9B%BD-jica-centroam%C3%A9rica-8-%E5%90%88%E5%90%8C%E8%A6%B3%E5%85%89pr%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88/ar-AA1O7aBQ?ocid=socialshare>

<sup>7</sup> 回答者の性別は男性が 39 名（32.5%）、女性が 79 名（65.8%）、その他が 2 名（1.7%）。年代は 0-20 代が 18 名（15%）、30 代-40 代が 60 名（50%）、50 代-60 代が 29 名（24.2%）、70 代以上が 13 名（10.8%）。国籍は全員が日本であった。

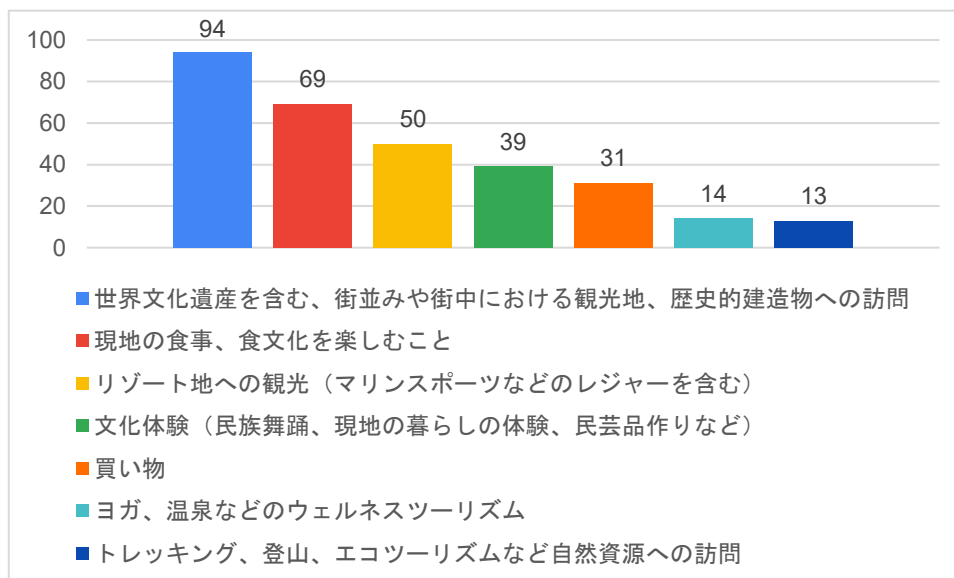


出所：IDCJ

図 9 中米の観光についてのアンケート回答

- 海外旅行においてどのような観光に魅力を感じるか：

複数選択可能とし、最も多かったのが街並みや歴史的建造物の観光であった（94名）。リゾート地への観光も50人が魅力に感じると回答している。また、食事体験や民族舞踊、民芸品作りなどの文化体験への関心を示す人も一定数おり、特に食事は6割近くの方が魅力に感じると答えている。



出所：IDCJ

図 10 魅力を感じる観光資源についてのアンケート回答

その他、本プロモーションイベントへの自由回答については少数ではあるが以下のコメントが得られた。

表 5 観光プロモーションイベントへの自由回答

- ・関西万博会場では中米を身近に感じられた。
- ・友人が教えてくれて慌てて来た。もっと宣伝してほしかった。
- ・中米の国の人たちと会えると思っていたのでとても面白かった。
- ・万博をきっかけとしたいイベントだった。
- ・中米の国を紹介するイベントをもっと大阪で開いてほしい。
- ・コモンズが楽しかった。
- ・万博が終わった後もこういった交流があるといい。
- ・音声や映像での告知的な盛り上げがあってもいいと思った。

出所：IDCJ

### 2.1.2. 萩市への効果の分析

今回の山口県萩市視察に際して、萩市内視察先との調整はプロジェクトチームと萩まちじゅう博物館長／まちじゅう博物館推進課長兼萩博物館長の大槻氏<sup>8</sup>の間で行った。萩市から本事業で中米カリブ地域 6 か国および中米観光組織関係者が萩まちじゅう博物館の取り組み視察で訪れる旨、事前に山口県内のメディアに向けて記者発表を行った。

萩市のプログラム行程中、9月30日に行われた浜崎まちあるきに関して NHK 情報維新山口より撮影および被招へい者への取材があり、また、同じく30日の萩市長表敬時にも山口県朝日放送の撮影と取材があった。

2025年9月30日および10月1日付けで前述した2局で被招へい者が萩市を視察している様子や萩市長を表敬している様子が放映された<sup>9</sup>。萩市関係者、また地域住民にとっては2003年策定、および2020年改定以降取り組みを継続している「萩まちじゅう博物館構想」を国外の観光関係者が日本の事例として視察に来ていることを知る契機に繋がった<sup>10</sup>。

## 2.2. 招へい事業の SICA 地域への効果の分析

「1.1 本招へいの目的」で記載した、SITCA、SICA 地域の観光省庁が、視察を通じて CBT やエコミュージアム構想について理解するという点については特に萩市の訪問を通じて被招へい者の理解を深めることができた。今後 SICA 地域で技術協力プロジェクトを進めていくうえで、各組織のトップである被招へい者が CBT やエコミュージアム構想を理解することは

<sup>8</sup> そのほか、大槻氏は萩市商工観光部 部次長も務めている。

<sup>9</sup> 山口朝日放送「中米諸国の観光大臣が萩市を訪問」<https://www.yab.co.jp/news-list/202509305211>

NHK 情報維新山口は 2025 年 10 月 1 日付で「山口 萩市の住民参加の観光とまちづくり 中米の大臣らが視察」のタイトルで放映された。後日改めて検索したが、配信リンクが見当たらないため URL リンクの貼り付けは割愛する。

<sup>10</sup> そのほか、萩市長田中氏のブログや波多野指月窯の SNS アカウントで訪問・視察について記事の掲載がみられた。

重要であるという点において、招へいの効果はあったと言える。

また、被招へい者が所属するいくつかの組織では、本招へいの活動内容をウェブサイトや SNS で取り上げたことを確認している。例えば、以下である。

- SITCA：”SITCA fortalece la cooperación turística con JICA en misión oficial”というタイトルのニュース記事を掲載。その他、公式 Instagram で招へい中の活動の様子を複数回にわたり投稿。
- CATA：Periodista Digital と Periodico Digital というニュースサイトに：”Centroamérica se proyecta en Japón como destino de cultura y sostenibilidad”というタイトルの記事を掲載。その他、公式 Instagram で招へい中の様子を投稿。
- パナマ：観光庁の公式 Instagram で招へい中の活動の様子を投稿。
- グアテマラ：観光庁の Facebook で招へい中の活動の様子を投稿。
- ホンジュラス：観光省の公式 Instagram で招へい中の活動の様子を複数回にわたり投稿。
- ニカラグア：観光庁のウェブサイトで”Nicaraguan tourism is projected from Japan”というタイトルの記事を掲載。その他、Facebook ページで招へい中の活動の様子を複数回にわたり投稿。

### 2.3. 招へい事業の「SICA 地域持続可能な観光/コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト」及び JICA に対するフィードバック

今回実施した招へい事業を通じて、今後、「SICA 地域持続可能な観光/コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト」と JICA に対して有効であると思われる事項について述べる。

#### 2.3.1. プロジェクトへのフィードバック

今回の招へい事業は、中米 8 か国の観光振興機関の要人が日本で観光振興の活動を行い、日本の人々（潜在的な観光客）に触れる機会を作り出した。中米各国にとっては、日本自体はそれほど大きな観光市場ではないが<sup>11</sup>、マーケティング能力強化は SICA プロジェクトのコン

---

<sup>11</sup> 例えば、コスタリカの 2024 年の国際訪問者数は 291 万人であったが、日本からの訪問客は 4,303 人でそのシェアは 0.15% だった (<https://www.ict.go.cr/en/administrar-estadistica/informes-estadisticos/anuarios/2005-2015/2863-2024-4/file.html>)。一方、中国からの訪問者は約 13,000 人、インドからの訪問者は 14,600 人だった。

ポーンメントの一つに位置付けられており、また、中国を含むアジア太平洋の市場を考慮すると、日本における観光振興活動の経験は、今後の観光振興に活かすことができる。

ただし、今回の 8 か国の観光振興の活動は各国の観光のイメージを宣伝するディスティネーション・マーケティング・プロモーションであり、プロジェクトを進める中で重要となるものはプロジェクト・マーケティング・プロモーションであることに留意が必要である。CBT は各国の様々な観光商品の中の一つの存在であり、それをどのように各国レベルや SICA レベルで位置付けていくかは、8 つのパイロットプロジェクトを実施する中で検討し、それをどのように最終的な観光商品を販売する旅行会社などに売り込むか（プロダクト・マーケティング・プロモーション）、各国や SICA のその他の観光商品と組み合わせて宣伝していくか（ディスティネーション・マーケティング・プロモーション）を考えていく必要がある。

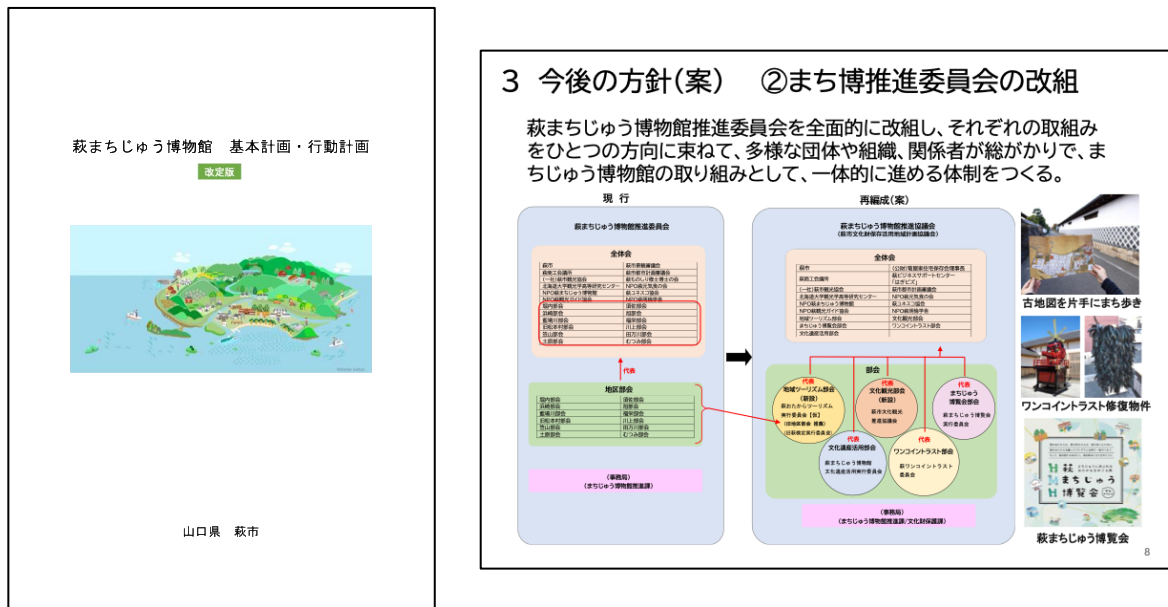
SICA プロジェクトの中で CBT の開発アプローチとして活用しようとしているエコミュージアム手法については、その日本国内の先進地である山口県萩市を訪れ、大いに刺激を受けることができた。特に以下の点について、今後の活動に活かすことができる。

- 中央政府・地方政府・民間セクター（NPO と地元企業、一般の人々）と、様々な主体が、公費（市の支出や県・国の補助金）、私的な利益（民間のビジネス）、無償の労働など、様々な経済的なインセンティブのもとに観光開発に参加している。
- 様々な主体が共有する開発の方向性を準備すること：萩まちじゅう博物館構想<sup>12</sup>を作成し、改訂している。
- 上記の様々な主体が参加する組織を作り出すこと：市が取りまとめを行っている、萩まちじゅう博物館推進委員会とその活動を拡充する予定の萩まちじゅう博物館推進協議会を設置している。
- 地元の人々が地域のお宝（有形・無形の観光資源）を探し出し、そのお宝をエコミュージアム手法のもとで観光商品・活動として開発している。
- コミュニティ観光開発と観光施設・観光インフラを組み合わせること：萩市はまちじゅう博物館構想を作り出しただけでなく、コアミュージアムである萩博物館や明倫学舎の整備を行った。また、浜崎地区で地元のガイドから紹介のあったように伝統的建造

<sup>12</sup> <https://www.city.hagi.lg.jp/uploaded/attachment/16079.pdf>

物の指定に伴う補助金を活用することによって地元の文化財を保全・修復している。

- 長期にわたって一貫した取り組みを継続している。萩まちじゅう博物館の構造は、2004年の萩博物館の整備により生み出され、取り組みが始まった。その間、市長や市の幹部は交代しているが、その取り組みの方針は一貫しており、継続して実施されてきた。



出所：山口県萩市

図 11 萩まちじゅう博物館 基本計画・行動計画（改訂版）と、まちじゅう博物館推進課資料「萩まちじゅう博物館推進委員会の役割の拡充について」

### 2.3.2. JICA へのフィードバック

今回の招へい事業を今後の JICA の取り組みにフィードバックできる点として、以下の 2 つを取り上げる。

1 点目は、被招へい者の能動的な活動を今後の招へいや研修のプログラムに組み入れることである。今回の招へい事業は大阪・関西万博の活動に資することも求められてきたため、万博会場やそのサテライト会場（JR 大阪駅）で観光プロモーション活動を行った。これは従来の招へい・研修と大きく異なる。このような活動を行うことは事前の準備や被招へい者の安全の確保など課題も多いが、このような活動を通じて被招へい者が日本の社会経済活動や日本の人々について知ること、被招へい者が団結して一つのチームとなることの意義は大きい。今までの研修プログラムでも研修を通じた行動計画の作成は行われてきたが、このアウトプットは外に開いたものではなかった。観光セクターであれば観光プロモーション活動を行う

というような、外に開いた活動を行うことが招へい／研修参加者の印象にも深く残り、今後の JICA との協力にも生きてくる場面が出てくるものと思われる。

例えば観光セクターであれば、毎年秋に開催される Tourism Expo Japan との連携を考えることができる。今回の招へいプログラムは大阪・関西万博の開催期間であったために大阪・関西万博での観光プロモーションイベント開催となったが、毎年開催される Tourism Expo Japan と組み合わせた招へい／研修プログラムの作成・実施が可能である。これまでも JICA は Tourism Expo Japan を活用した支援を行ってきたが、主な支援内容は展示ブースのスペースの資金支援やブースの設置の支援などの支援内容が多かった。Tourism Expo Japan は B2B と B2C の両方のプロモーション活動ができる機会であり、それぞれどのような活動をすればいいか、「旅行会社や潜在的な訪問者に国や地域を知ってもらう」活動の次に実際に訪れてもらうためにはどのような活動をしたらよいかに焦点を当てたプログラムとし、それに日本国内の観光地経営の先進地を訪問するプログラムを作ることを提案する。

2 点目は、招へいプログラムの接遇区分や費用負担の考え方の整理である。今回の招へいプログラムでは大臣・副大臣レベルの被招へい者が多数来日することになり、そのスケジュールの急な変更や、予定外の随行者の来日、被招へい者に準備できる予算と対応する JICA 職員・専門家の予算の差、飲食時の飲料代の負担など、様々な問題が発生した。その結果、招へい事業を受託した企業や個人が費用負担する、一時的に費用を支払うことがあった。研修ではガイドラインで決められていることでも、招へいの場合はガイドラインで定められていない点も多い。もし、招へい事業を増やしていくという方針を JICA が持っているのであれば、これらの問題に対応することが必要である。

### 3. 添付資料

#### 3.1. 詳細計画表（実績版）

詳細行程表（招へい用）

2025/10/14

案件名: SICA 地域観光プロジェクト万博招へい事業

被招へい者人数: 11 人

期間: 2025/9/24 ~ 2025/10/1

主管部署: 経済開発部民間セクターグループ

案件番号: 24a00942

主管部担当者: 髙 誠

日付	時刻	プログラム内容	訪問場所	面会者	
				氏名	所属先及び職位
9/24(水)	パナマ大臣 (Gloria De Leon)				
	9/22 15:35 ~ 4:30	来日 (UA7914)、羽田空港着			
	5:30 ~ 6:30	移動 (羽田空港⇒ホテル)			
	6:30 ~ 6:50	アーリーチェックイン	グランドプリンスホテル新高輪		
		昼食	ミールクーポン		
		夕食	ミールクーポン		
	ニカラグア大臣 (Mara Stotti)				
	9/22 12:30 ~ 6:20	来日 (AM058)、成田空港着			
	7:20 ~ 9:10	移動 (成田空港⇒ホテル)			
	9:10 ~ 9:30	アーリーチェックイン	グランドプリンスホテル新高輪		
	~	昼食	ミールクーポン		
	~	夕食	ミールクーポン		
9/25(木)	~ 7:45	集合			
	8:00 ~ 8:20	移動 (ホテル⇒品川駅)			
	8:49 ~ 10:22	のぞみ313号 (品川駅⇒名古屋駅)			
	10:45 ~ 11:45	移動 (名古屋駅⇒昼食会場)			
	11:45 ~ 12:45	昼食	ビストロ スリール		
	12:45 ~ 13:00	移動 (昼食会場⇒愛知県国際展示場)			
	13:15 ~ 17:00	Tourism Expo 2025	愛知県国際展示場		
	17:15 ~ 18:30	移動 (常滑⇒名古屋)			
	18:51 ~ 20:27	のぞみ252号 (名古屋⇒品川駅) ※夕食は車内でお弁当			
	20:40 ~ 21:00	移動 (品川駅⇒ホテル)			
	以下、パナマ、ニカラグア大臣以外の招へい者のスケジュール				
	ホンジュラス (Yadira Gomez)、ニカラグア (Ligia Miranda)、コスタリカ (Alberto López)、エルサルバドル (Boris Iraheta, Ernesto Monge)				
	~ 4:30	来日 (UA7914)、羽田空港着			
	5:30 ~ 6:30	移動 (羽田空港⇒ホテル)			
	6:30 ~ 6:50	アーリーチェックイン	グランドプリンスホテル新高輪		
		昼食	ミールクーポン		
		夕食	ミールクーポン		
	グアテマラ (Harris Whitbeck)				
9/23 23:19 ~ 13:35	来日 (UA131)、羽田空港着				
14:30 ~ 15:30	移動 (羽田空港⇒ホテル)				
15:30 ~ 15:50	チェックイン	グランドプリンスホテル新高輪			
	夕食	ミールクーポン			
ベリーズ (Josue Carballo)					
9/23 12:40 ~ 14:00	来日 (UA007)、成田空港着				
15:00 ~ 17:00	移動 (成田空港⇒ホテル)				
17:00 ~ 17:20	チェックイン	グランドプリンスホテル新高輪			
	夕食	ミールクーポン			
エルサルバドル大臣 (Alejandra Durán)					
9/23 13:42 ~ 18:30	来日 (AF274)、羽田空港着				
19:30 ~ 20:30	移動 (羽田空港⇒ホテル)				
20:30 ~ 20:50	チェックイン	グランドプリンスホテル新高輪			

日付	時刻	プログラム内容	訪問場所	面会者		
				氏名	所属先及び職位	
9/26(金)	～ 8:45	集合				
	9:00 ～ 9:55	移動(ホテル→JICA本部)				
	10:00 ～ 11:10	JICA本部表敬(確定)	JICA本部(麹町)			
	11:20 ～ 11:45	招へい日程ブリーフィング	JICA本部(麹町)			
	12:00 ～ 12:15	移動(JICA本部→レセプション会場)				
	12:30 ～ 14:30	レセプション	ラシック アンジュール			
	14:30 ～ 15:00	移動(レセプション会場→東京駅)				
	15:30 ～ 18:00	のぞみ45号(東京→新大阪)				
	18:15 ～ 18:30	移動(新大阪駅→ホテル)				
	18:30 ～ 19:00	チェックイン	ANAクラウンプラザホテル大阪			
	19:15 ～ 19:30	徒歩移動(ホテル→夕食会場)				
	19:30 ～	夕食	cucina cucina クチーナクテーナ			
		徒歩移動(夕食会場→ホテル)				
	パナマ大臣(Gloria De Leon)					
		14:30	レセプション後離団			
		14:30 ～ 15:00	移動(レセプション会場→ホテル)			
		夕食	ミールクーボン			
	～ 21:45	レイトチェックアウト・集合				
	22:00 ～ 22:30	移動(ホテル→羽田空港)				
	9/27 00:30 ～	離日(UA7982)				
9/27(土)	～ 9:15	集合				
	9:30 ～ 10:00	移動				
	10:00 ～ 11:45	オプション:大阪北部観光(例:大阪城)				
	11:45 ～ 12:00	移動(大阪城→大阪駅)				
	12:00 ～ 13:30	昼食	ラ・ペランダ プレミア アバホテル&リゾート大阪梅田駅タワー			
	13:30 ～ 14:50	昼食会場からグランヴィアへ移動(徒歩10分強)。着替えがある人はグランヴィアの休憩室で着替え。その他の人は休憩or梅田駅散策し、14:50に旅立ちの広場に集合。	ホテルグランヴィアor梅田駅周辺			
	14:50 ～ 15:45	PRイベント参加	JR大阪駅旅立ちの広場			
	15:45 ～ 17:00	休憩	大阪ホテルグランヴィア			
	17:00 ～ 17:15	移動(大阪駅→道頓堀)				
	17:15 ～ 18:15	移動・観光	道頓堀にて買い物等			
	18:15 ～ 18:30	徒歩移動(道頓堀→夕食会場)				
	18:30 ～ 20:00	夕食(各自で調達)				
	20:00 ～	移動(夕食会場→ホテル)	ANAクラウンプラザホテル大阪			
	9/28(日)	～ 8:45	集合			
9:00 ～ 9:30		移動(ホテル→万博会場)				
10:00 ～ 11:00		パビリオン視察(関西パビリオン)※予約済み				
11:20 ～ 12:10		パビリオン視察(日本館)※予約済み				
12:30 ～ 13:30		昼食(IDCJで手配予定:ペルー館キッチンカー)	コモンズA ファンクションスペース			
13:50 ～ 14:20		パビリオン視察(ペルー館)				
14:30 ～ 15:50		休憩orコモンズなど自国のパビリオン訪問				
15:50 ～ 16:50		集合→PRイベント参加	ポップアップステージ東内			
16:50 ～ 18:30		着替え・撤収・移動(万博会場→バス駐車場)				
18:40 ～ 19:00		移動(万博→夕食会場)				
19:30 ～ 21:00		夕食	インドレストランDIWALI梅田店			
21:00 ～		移動(夕食会場→ホテル)	ANAクラウンプラザホテル大阪			

日付	時刻	プログラム内容	訪問場所	面会者	
				氏名	所属先及び職位
9/29(月)	～ 7:25	集合・チェックアウト			
	7:40 ～ 8:10	移動(ホテル→新大阪駅)			
	8:41 ～ 10:33	のぞみ3号(新大阪→新山口)			
	10:50 ～ 12:00	移動(新山口駅→萩市内)			
	12:00 ～ 13:00	昼食(萩博物館レストラン)	萩博物館		
	13:10 ～ 15:10	萩博物館(コアミュージアム)訪問	萩博物館	山本明日美氏	NPO萩まちじゅう博物館
				八百板季穂	岡山理科大学工学部建築学科
				清水満幸	元萩博物館館長
				大槻洋二	萩博物館館長
	15:10 ～ 16:15	堀内武家屋敷まち歩き	堀内地区	清水満幸氏	元萩博物館館長
	16:15 ～ 17:15	波多野指月窟訪問	波多野指月窟	波多野善三	萩焼 波多野指月窟
				八百板季穂	岡山理科大学工学部建築学科
		17:30 ～ 17:45	移動(視察先→ホテル)		
	17:45 ～ 18:00	ホテルへチェックイン	萩本陣		
	18:15 ～ 20:00	夕食			
9/30(火)	～ 8:30	集合・チェックアウト			
	8:40 ～ 9:00	移動			
	9:00 ～ 10:30	浜崎まち歩き		地元ガイド(2)	浜崎しつる会
				八百板季穂	岡山理科大学工学部建築学科
	10:45 ～ 11:00	移動			
	11:00 ～ 11:50	萩市長面談	明倫学舎	田中文夫	萩市長
	11:50 ～ 12:30	昼食(明倫学舎 萩歴)	明倫学舎		
	12:30 ～ 12:45	移動			
	12:45 ～ 13:15	道の駅見学:「萩往還」	道の駅萩往還	八百板季穂	岡山理科大学工学部建築学科
	13:15 ～ 14:20	移動			
	15:05 ～ 16:50	JAL294便(山口宇部空港→羽田空港)			
	17:30 ～ 18:00	移動(羽田空港→ホテル)			
		チェックイン	グランドプリンスホテル新高輪		
	夕食	ミールクーボン			
10/1(水)	ニカラグア大臣(Mara Stotti)				
	～ 5:45	集合・チェックアウト			
	6:00 ～ 7:30	移動(ホテル→成田空港)			
	9:35	離日(AM057)			
	ベリーズ(Josue Carballo)				
	～ 6:45	集合・チェックアウト			
	7:00 ～ 8:00	移動(ホテル→羽田空港)			
	10:25	離日(UA7936)			
	エルサルバドル(Boris Iraheta)				
	～ 6:45	集合・チェックアウト			
	7:00 ～ 8:00	移動(ホテル→成田空港)			
	10:25	離日(TK51)			
	コスタリカ(Alberto López), グアテマラ(Harris Whitbeck), エルサルバドル(Ernesto Monge), 専門家(櫻井、佐藤)				
	～	昼食		ミールクーボン	
	～ 12:45	集合・レイトチェックアウト			
	13:00 ～ 14:30	移動(ホテル→成田空港)			
	17:00	離日(UA006)			
	ニカラグア(Ligia Miranda)				
		昼食		ミールクーボン	
	19:30	集合・レイトチェックアウト			
19:45 ～ 20:30	移動(ホテル→羽田空港)				
22:55 ～	離日(UA7939)				
エルサルバドル大臣(Alejandra Durán) ※エールフランス便出発変更により10月1日終日ステイ					
	昼食		ミールクーボン		
	夕食		ミールクーボン		
10/2(木)	エルサルバドル大臣(Alejandra Durán)				
	～ 11:00	集合・チェックアウト			
	11:45 ～ 12:30	移動(ホテル→羽田空港)			
	14:25	離日(AF279)			

### 3.2. オリエンテーション資料

# **Invitation Program for SICA Member Countries**

31

## **Orientation for Visiting Japan**

## Background

The Japan International Cooperation Agency (JICA) supports the activities of the “Sistema de la Integración Centroamericana” (SICA). One of the main cooperation areas is the tourism sector and the SICA, Eight National Tourism Authorities, the “Secretaría de Integración Turística Centroamericana” (SITCA) and the JICA started a technical cooperation project called, “Project of Capacity Building for the Promotion of Sustainable and Community Based Tourism in the SICA Region” in March 2025. This project aims to strengthen community-based sustainable tourism development and tourism management capabilities, as well as overcoming the economic and social vulnerabilities that were revealed by the global spread of the COVID-19. Please refer to the JICA website\* about the project.

\* [https://www.jica.go.jp/spanish/overseas/america/plaza/project/1571287\\_63762.html](https://www.jica.go.jp/spanish/overseas/america/plaza/project/1571287_63762.html)

## Objectives

Main objectives of this invitation program is to deepen the understanding of Japan's tourism industry efforts and JICA's approach to the community-based tourism development for the stakeholders of technical cooperation project of the SICA region. The officials from each country's tourism-related ministries and agencies and the SITCA will visit the Osaka-Kansai Expo and community-based tourism sites in Japan, as well as participating in tourism promotion events.

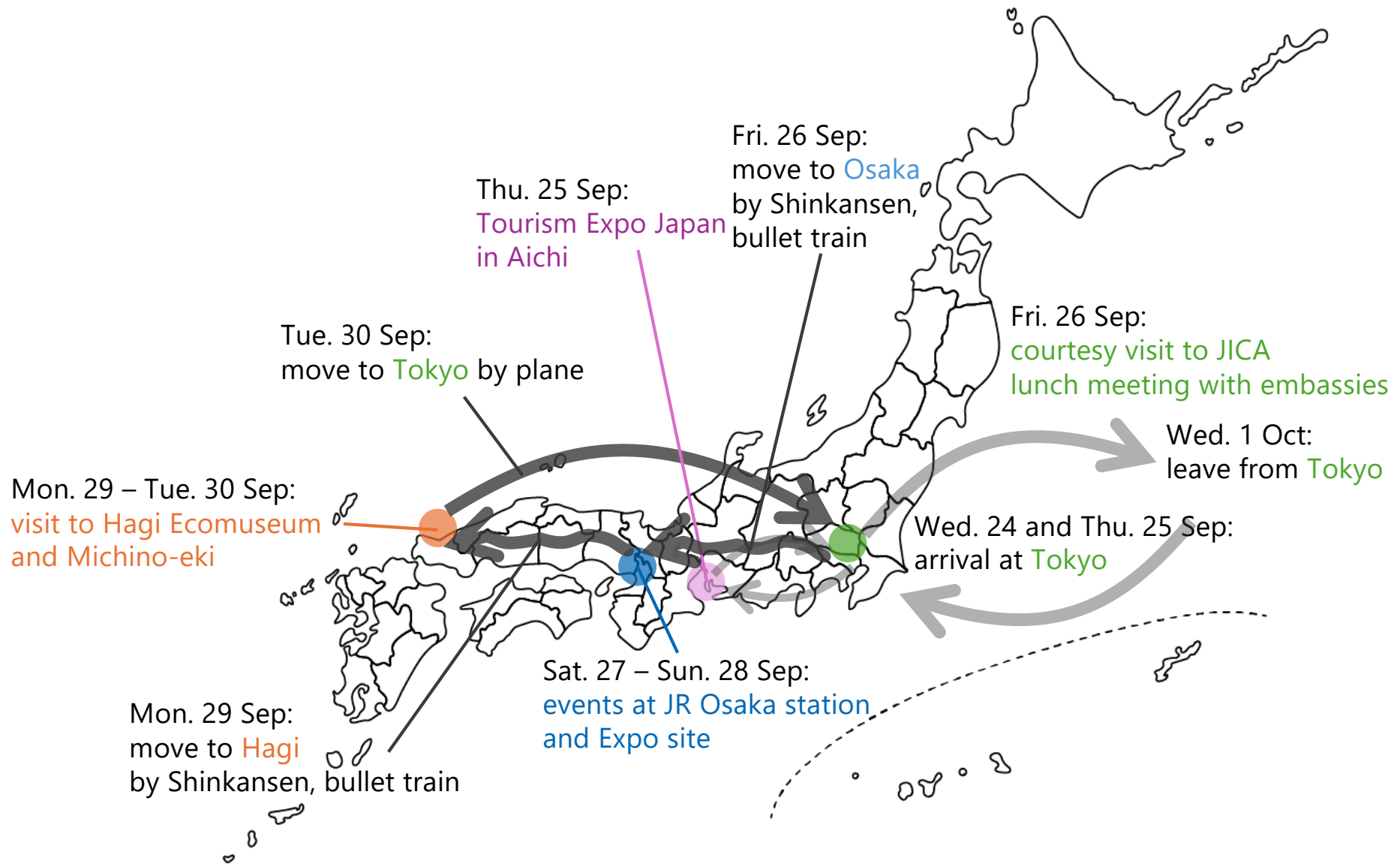
# Invitees

Country	Name	Organization	Position
Panama	Gloria María De León Zubieta	Autoridad de Turismo de Panamá (ATP)	Administradora General
Belize	Josue Carballo	Ministry of Tourism, Youth, Sports & Diaspora Relations	Chief Tourism Officer
Guatemala	Harris Lee Whitbeck Cain	Instituto Guatemalteco de Turismo (INGUAT)	Director General
El Salvador	Alejandra Durán	Ministerio de Turismo de El Salvador	Directora Ejecutiva de CORSATUR
Honduras	Yadira Esther Gomez Chavarria	Secretaría de Turismo de Honduras (IHT)	Ministra
Nicaragua	Mara Vanesa Stotti	Instituto Nicaragüense de Turismo (INTUR)	Co-directra
Costa Rica	Alberto López Chaves	Instituto Costarricense de Turismo (ICT)	Gerente General (Viceministro)
Dominican Republic	Yira Vermenton	Ministerio de Turismo de la República Dominicana	Directora de Iniciativas Provinciales
-	Ligia Fátima Miranda Ponce	Secretaría de Integración Turística Centroamericana (SITCA)	Secretaria Ejecutiva
-	Boris Francisco Iraheta Cadenas	Agencia de Promoción Turística de Centroamérica (CATA)	Secretario General
-	Ernesto José Monge Navarrete	Secretaría de Integración Turística Centroamericana (SITCA)	Coordinador de Integración y Cooperación

# Itinerary

Date	Activity	City	Dress code
Wed 24 Sep	Arrival day for participants from APT (Panama) and INTUR (Nicaragua)	Tokyo	Casual (shirt)
Thu 25 Sep	a.m. Move to Nagoya (APT (Panama) and INTUR (Nicaragua)) p.m. Join Ministerial Roundtable of the Tourism Expo Japan 2025 Move to Tokyo	Tokyo → Nagoya → Tokyo	Formal (suit & tie)
Thu 25 Sep	Arrival day for other participants	Tokyo	Casual
Fri 26 Sep	a.m. Courtesy call to JICA Headquarters (10:00) p.m. Lunch meeting with embassies in Tokyo Move to Osaka / Departure day for the participant from Panama	Tokyo → Osaka	Formal (JICA) Casual (moving to Osaka)
Sat 27 Sep	a.m. Visit downtown of Osaka City p.m. Tourism promotion event at the JR Osaka Station	Osaka	Casual
Sun 28 Sep	a.m. Visit the Osaka Kansai Expo site p.m. Tourism promotion event at the Expo site	Osaka	Casual (traditional & typical costume)
Mon 29 Sep	a.m. Move to Hagi City p.m. Site visit to Hagi Machiju Hakubutukan (Hagi Ecomuseum) Overview of the concept and guided tour	Osaka → Hagi	Casual
Tues 30 Sep	a.m. Courtesy call to Hagi City Mayor Site visit to Hagi City (including Michino-eki) p.m. Move to Tokyo	Hagi → Tokyo	Formal (Hagi City Mayor)
Wed 01 Oct	Move to Haneda or Narita International Airports; Departure day	Tokyo	Casual

# Itinerary (7 to 8 days)



# Expected outputs

Date	Activity	Outputs
Fri. 26 Sep	Courtesy visit to JICA Headquarters	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Discussion with Ms. Sachiko Imoto, Senior Vice President on strengthening cooperation activities with JICA to promote the Sustainable and Community Tourism Project</li> </ul>
Sat. 27 Sep Sun. 28 Sep	Organize events at the JR Osaka Station and the Expo site	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Appeal the tourism in SICA countries to the media, travel agencies, and general visitors.</li> <li>- Address further development of tourism in SICA countries and further cooperation with JICA</li> </ul>
Mon. 29 Sep Tue. 30 Sep	Site visit to Hagi Machiju Hakubutukan (Hagi Ecomuseum) and Michino-eki	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Learn the initiative of Hagi Machiju Hakubutukan as one of the good practices of community tourism and Ecomuseum method in Japan by visiting its core museum (Hagi Museum) and its discovery trails with local guides</li> <li>- Observe the example of Michino-eki in Hagi City</li> </ul>

# Tourism promotion events

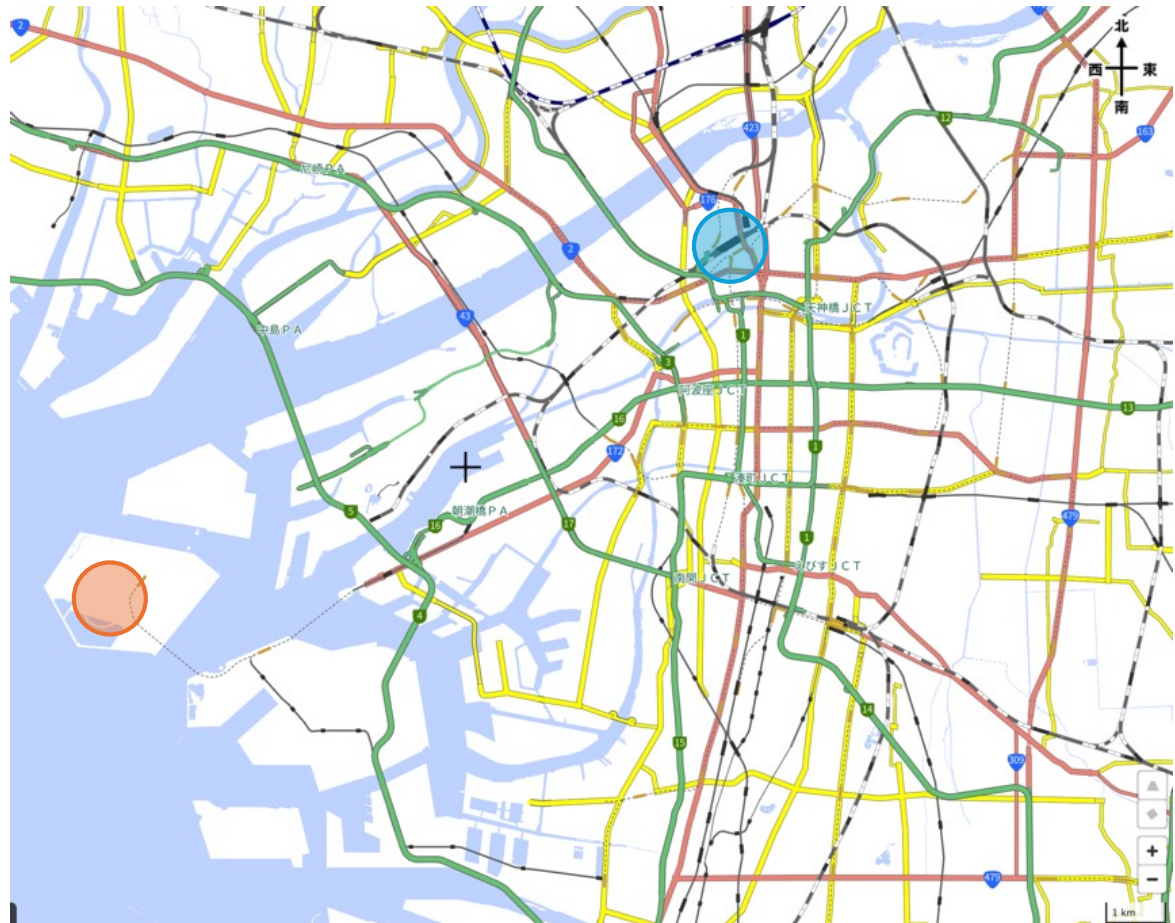
## セントロアメリカ 8 中米8か国観光PRイベント

Sat. 27<sup>th</sup> September  
01:45 p.m. to 4:45 p.m.

JR Osaka Station  
(outside the Expo site)

Sun. 28<sup>th</sup> September  
3:30 p.m. to 5:30 p.m.

Pop-Up Stage Inner East  
(inside the Expo site)



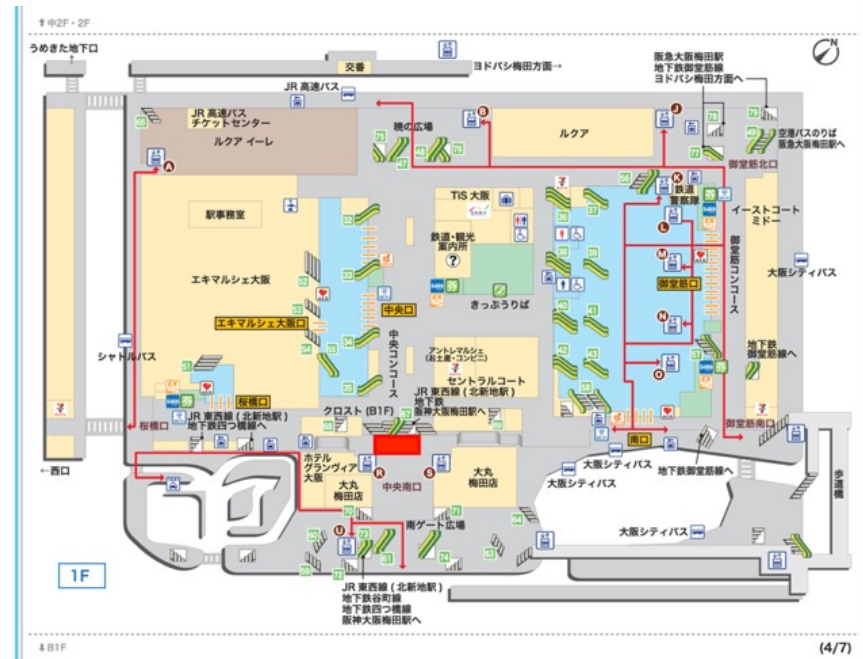
# Tourism promotion event: JR Osaka Station (1)

Venue: Tabidachi no hiroba (departure square)

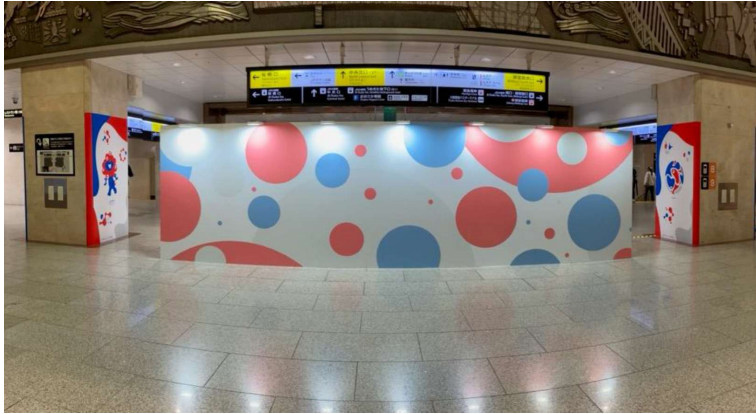
Date & time: 01:45 p.m. to 04:45 p.m. (11:00 a.m. to 06:00 p.m.) on 27<sup>th</sup> September

JR Osaka handles around 700,000 passengers per day. This includes commuters, tourists, visitors to EXPO 2025, etc. and it is the busiest station in the West part of Japan.

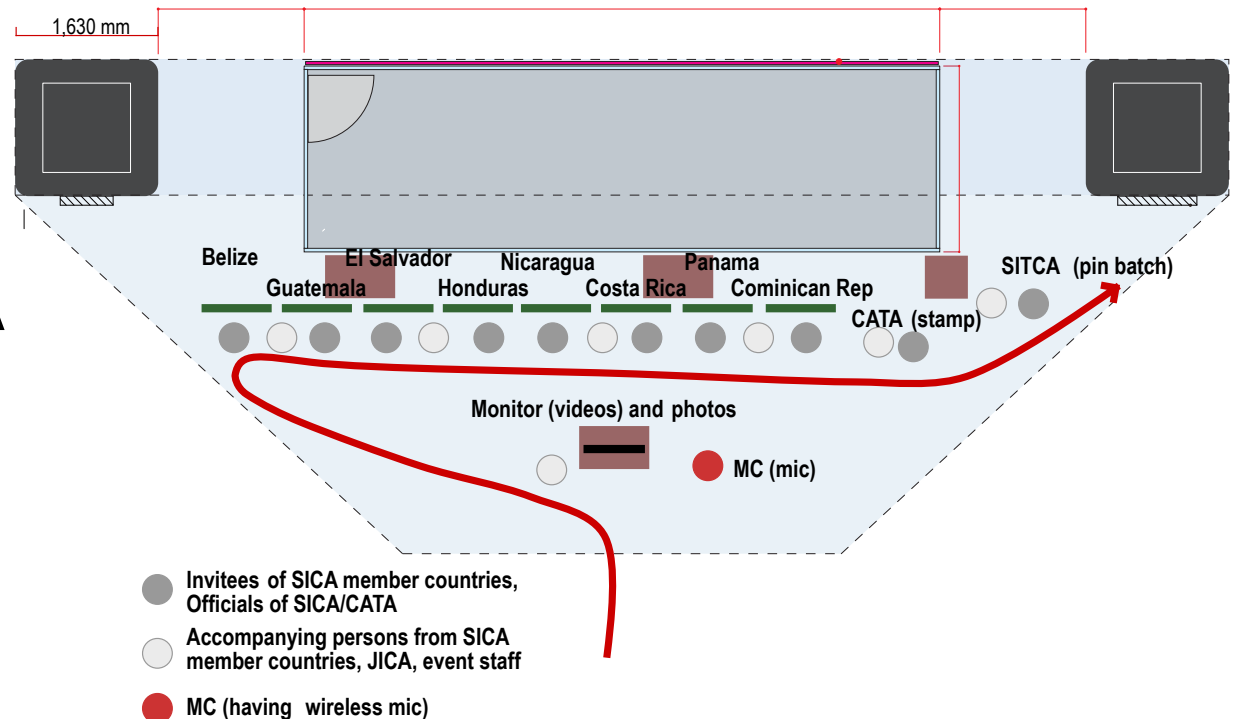
38



# Tourism promotion event: JR Osaka Station (2)



Top view



Videos and photos from CATA and national tourism authorities will be displayed at the beginning of the visitor line.

# Tourism promotion event: JR Osaka Station (3)

- Create a dedicated panel for this event in front of the back panel.
- Arrange posters of each SICA member country and a SITCA poster in front of the back panel.
- Invitees will line up in front of their respective country's poster. Support staff will stand among them.
- The invitees will hand out each country's trading card to the event visitors. The Secretary General of CATA stamps the SITCA trading card. Those who collect all trading cards will receive a pin badge from Executive Secretary of SITCA. Beside her, there will be two types of stamps which are created specifically for this event and visitors can stamp freely.
- The invitees will chat with visitors and take photos with them. Support staff will assist the invitees.
- At the location where visitors are waiting, there will be a monitor on a table which the promotional videos created by CATA and each national tourism authorities are looping. Photos are also displayed.
- Near the monitor, a master of ceremonies (MC) will stand to attract visitors.
- During the event, invitees will take the microphone to greet visitors and speak about their country's tourism appealing points for about 30 seconds (and 30 seconds interpretation).
- It might be a good idea to wear traditional clothing and accessories from each country when participating in the event.
- The invitees are expected to participate in the event for two 45-minutes sessions. Wearing comfortable shoes is recommended.
- During the rest of the time, invitees will rest in a conference room at a nearby hotel.

# Tourism promotion event: Expo site (1)

Venue: Pop-Up Stage Inner East

Date & time: 01:45 p.m. to 04:45 p.m. (03:00 a.m. to 07:00 p.m.) on 28<sup>th</sup> September

The Pop-Up Stage Inner East is located along the path leading from the East Gate towards the central area. This is a very busy spot where many visitors pass. We are coordinating with the Expo Secretariat that the event will be held indoors in case of rain.

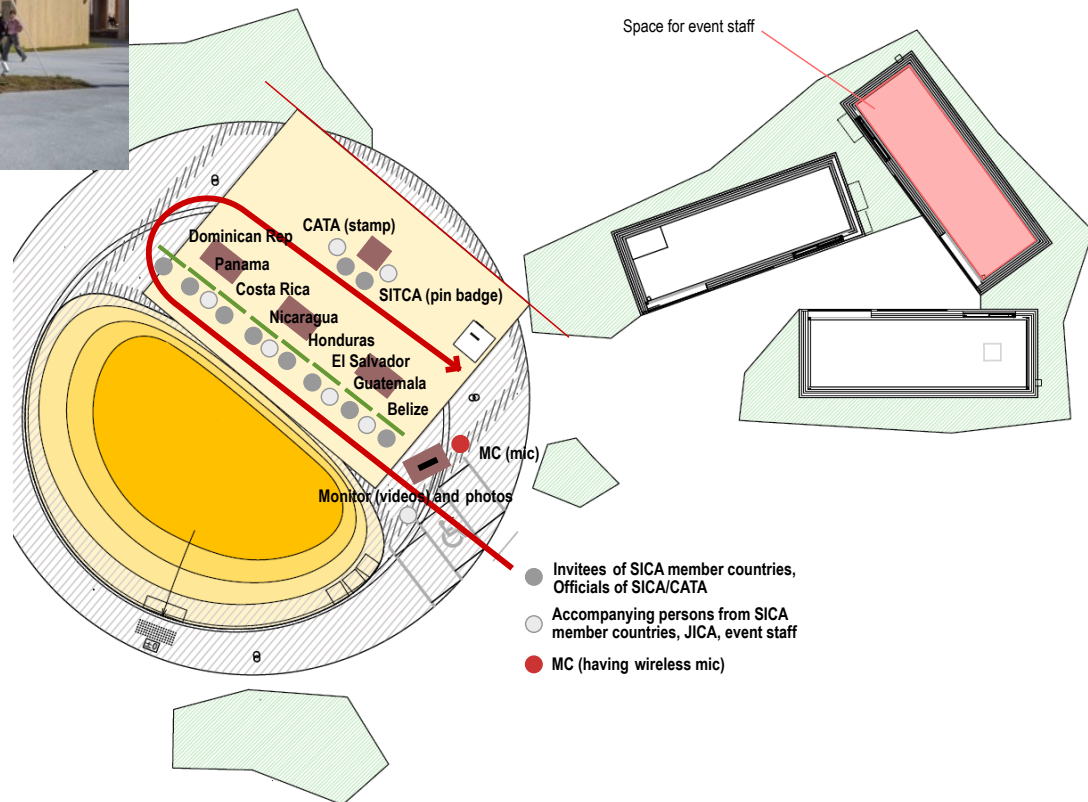
41



# Tourism promotion event: Expo site (2)



Top view



# Tourism promotion event: Expo site (3)

- Arrange posters of each SICA member country and a SITCA poster in front of the back panel.
- Invitees will line up in front of their respective country's poster. Support staff will stand among them.
- The invitees will hand out each country's trading card to the event visitors. The Secretary General of CATA stamps the SITCA trading card. Those who collect all trading cards will receive a pin badge from Executive Secretary of SITCA. Beside her, there will be two types of stamps which are created specifically for this event and visitors can stamp freely.
- The invitees will chat with visitors and take photos with them. Support staff will assist the invitees.
- At the location where visitors are waiting, there will be a monitor on a table which the promotional videos created by CATA and each national tourism authorities are looping. Photos are also displayed.
- Near the monitor, a master of ceremonies (MC) will stand to attract visitors.
- When visiting the venue, invitees will take the microphone to greet visitors and speak about their country's tourism appealing points for about 30 seconds (and 30 seconds interpretation).
- It might be a good idea to wear traditional clothing and accessories from each country when participating in the event.
- The invitees are expected to participate in the event for two 45-minutes sessions. Wearing comfortable shoes is recommended.
- During the remaining time, they will rest in the backstage area of the Commons A.

# Posters & trading cards (1)

Belize



Guatemala



El Salvador



Honduras



44

非売品

©Expo 2025

**ベリーズ**  
Belize

首都はベルモパン、人口は41万人で、面積は四国より少し大きい国です。伝統的には砂糖、バナナ、柑橘類などの生産が主要産業でしたが、近年は観光などのサービス業が成長しています。

ベリーズは文化的多様性に特徴があり、伝統や豊かな食文化で知られるガリフナ文化が有名です。世界で2番目の広さを持つ世界遺産ベリーズ珊瑚礁保護区も知られています。

独立行政法人 国際協力機構

非売品

©Expo 2025

**グアテマラ**  
Guatemala

首都はグアテマラシティ、人口は1,840万円で面積は北海道と四国を合わせたくらいの大きさの国です。衣類、コーヒー、砂糖、バナナが主要輸出品です。

マヤ文明最大の都市の一つであるティカル遺跡、世界遺産のアンティグア・グアテマラ、世界一美しい火山湖と言われているアтитラン湖、神秘的な階段状の湖セムクチャンペイ、活火山のフエゴ火山が有名です。

独立行政法人 国際協力機構

非売品

©Expo 2025

**エルサルバドル**  
El Salvador

首都はサンサルバドル、人口は603万円で面積は九州の約半分の国です。コーヒーの生産国であるほか、イサルコ火山は観光地として有名です。

また、太平洋に面した300kmを超える海岸線には数多くのサーフィンポイントが点在しており「サーフ・シティ」として有名な国です。トウモロコシを用いた「ププサ」は、国民食の一つです。

独立行政法人 国際協力機構

非売品

©Expo 2025

**ホンジュラス**  
Honduras

首都はテグシガルバ、人口は1,043万円で面積は日本の約3分の1の国です。世界で第6位のコーヒーの生産国で、日本でもホンジュラスコーヒーを味わうことができます。カリブ海に浮かぶロアタン島などから構成されるバイア諸島は人気の観光地です。

中でも、日本チームが発掘・調査・研究を長年続けているコパン遺跡は特に有名で、世界遺産にも登録されています。

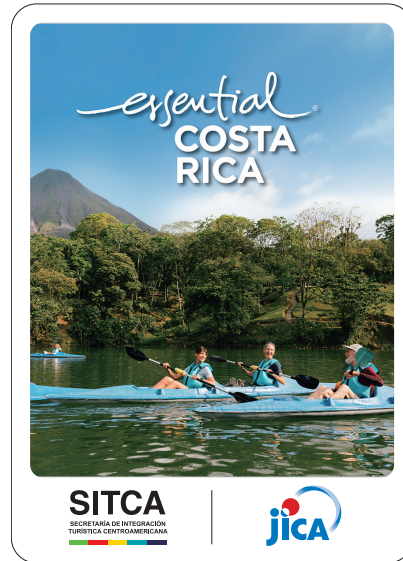
独立行政法人 国際協力機構

# Posters & trading cards (2)

## Nicaragua



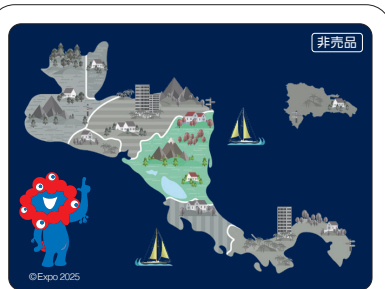
## Costa Rica



## Panama



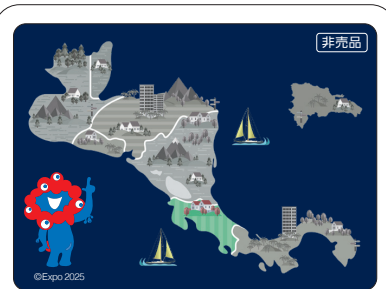
## Dominican Rep



**ニカラグア**  
Nicaragua

首都はマナグア、人口は695万人で、北海道と九州を合わせたくらいの面積の、中央アメリカ最大の国です。コーヒー、牛肉、砂糖、乳製品の生産が主要な経済活動です。主な観光地は、スペイン植民地時代の町並みが残る古都グラナダや、ニカラグア湖に浮かぶオメテペ島です。世界でも数少ない「滑り降りられる火山」ことネグロ火山も有名です。

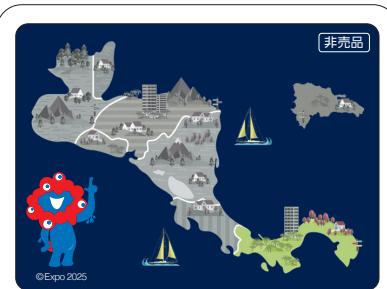
独立行政法人 国際協力機構



**コスタリカ**  
Costa Rica

首都はサンホセ、人口は521万人で面積は九州と四国を合わせた大きさの国です。国立公園及び保護区の面積が国土の約4分の1を占め、生物多様性に富んでいます。ココ島国立公園、グアナカステ保全地域は世界遺産に登録されています。その他、熱帯雨林とビーチがあるマヌエル・アントニオ国立公園、イラス火山国立公園も人気です。

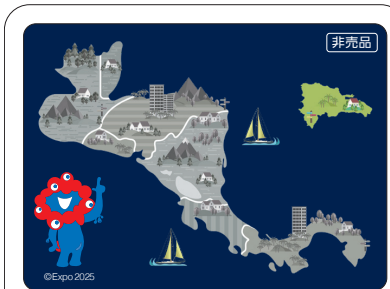
独立行政法人 国際協力機構



**パナマ**  
Panama

首都はパナマシティ、人口は451万人で面積は北海道よりやや小さい大きさの国です。日本はパナマ運河の主要な利用国の一つです。パナマは多様性に富んだ国で、今でも複数の先住民文化が残っており、ボディペインティングが特徴的なエンペラ族の居住地域での観光も体験できるほか、パナマビエホとパナマ歴史地区、カリブ海沿岸の要塞群が有名です。

独立行政法人 国際協力機構



**ドミニカ共和国**  
Dominican Republic

首都はサントドミンゴ、人口は1,133万人で面積は九州より少し大きい、イスパニョーラ島に位置する国です。野球がさかんな国で、日本でも多くの選手が活躍しています。カリブ海地域有数の観光地で、ビーチリゾート、コミュニティ観光、エコツーリズムが楽しめます。サントドミンゴのコロニアル地区は世界遺産に登録されています。

独立行政法人 国際協力機構

# Stamps & pin badges

## Stamps on the trading card



Trading card for SITCA

Pin badge

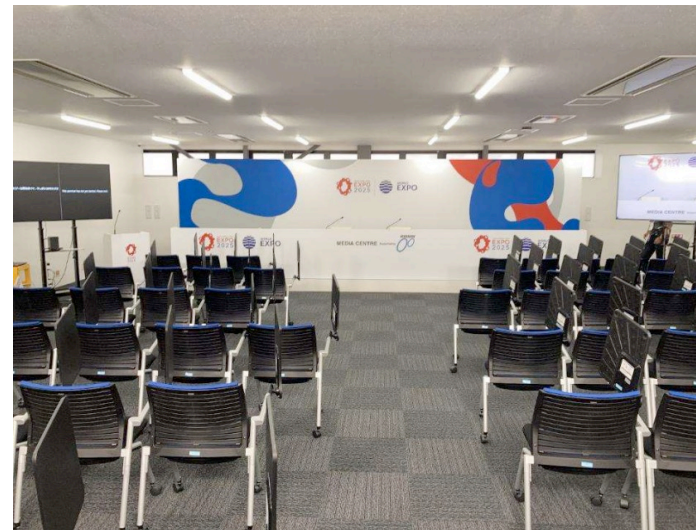
Visitors who have 8 countries' trading cards and the SITCA card can receive the pin badge.



# Media briefing

- Media briefing: organized weekdays. The Director of Public Relations of Expo secretariat introduces the events/ programs in Expo from 9:00 to 10:00.
- Pre-announcement: One week before the event at the Expo site. Send an advertisement document to the department of public relations
- Joining the Media briefing (Friday 26<sup>th</sup> Sep.):
  - 10-minute presentation by a consultant member
  - Explain the events at the JR Osaka Station on 27<sup>th</sup> Sep. and at the Expo site (Pop-Up Stage Inner East) on 28<sup>th</sup> Sep.

Invitees will not join this media briefing.



# Visit to Hagi City, 29 - 30 September

## What is Hagi Ecomuseum?

Hagi City is a place that produced important figures 160 years ago when Japan began its modernization. The city started Hagi Machiju Hakubutukan (Hagi Ecomuseum) Initiative with the opening of Hagi Museum (a municipal museum) in 2004.

Ecomuseum is a concept developed in France, which regards certain area (in Hagi, Hagi city as a whole) as an open-air museum or a museum without a roof. In an ecomuseum, citizens, government, business owners, and visitors will discover tangible and intangible treasures/valuable things/precious matters by exploring the area; then those treasures will be conserved as it is and kept where it initially belongs. Those treasures will be organically connected with various people and other treasures, then become precious heritage for the local.

Hagi has a unique local culture that attracts many visitors. However, Hagi Ecomuseum is a more ambitious initiative, based on the Ecomuseum concept, which creates new cultural activities and local landscape and facilitates tourism development. Citizens, the owner of the Hagi Ecomuseum, welcome visitors and enrich their experiences through deep interaction. Hagi Tourism Association selected as a registered DMO (Destination Management/Marketing Organization) by the Japan Tourism Agency, which facilitate sustainable tourism development utilizing local resources, and Hagi Ecomuseum plays important role related to destination management of Hagi.

Refer the video regarding Hagi Ecomuseum prior to your visit to Japan (83 minutes, Spanish subtitled)

<https://youtu.be/Fd85ZOYJXJ8?si=jLNoCzWqPtVKM2mc>

# Visit to Hagi City, 29 - 30 September

## Schedule (tentative)

[Mon. 29<sup>th</sup> Sep.]

13:30 – 14:30 **Visit to Hagi Museum** to learn the general concept of Hagi Ecomuseum

14:30 – 16:00 **Guided tour in Horiuchi Historical Samurai Residence Area** to experience a discovery trail of Hagi Ecomuseum

Hagi was a castle town in Edo (Shogun) Period (in 17<sup>th</sup> – mid 19<sup>th</sup> Century) and the townscape of that period is partly preserved as it used to be, which tells the life of warrior class and its history to the visitors.

16:00 – 17:00 **Guided tour in Aibagawa Waterway Area** to discover the historical townscape preservation area

The waterway shares the atmosphere of daily life 400 years ago.

[Tue. 30<sup>th</sup> Sep]

09:30 – 10:00 Courtesy Call to Mayor of Hagi (TBC)

10:00 – 11:30 **Guided tour in Hamasaki Historical Port Town** to experience another discovery trail of Hagi Ecomuseum

Hamasaki, merchant class area, was rehabilitated one of the attractive and vibrant commercial area for visitors preserving the historical townscape

11:30 -13:00 **Visit to Michino-eki:** Seamart and/or Hagioukan to observe its operation and function



# Basic Information on Japan (1)

- The weather is expected to be humid and hot even in late September.
- For your reference, the average temperature in September 2024 was 30.9 degrees Celsius in Tokyo and 28.6 degrees Celsius in Osaka. On the other hand, in case the weather is cool particularly in the evening, we recommend that you bring long-sleeved clothing as well.
- We are going to prepare umbrellas for sun-shading and rain.
- In case of sickness, we recommend that you bring regular medication, although you can purchase medication in drug stores.
- When getting on the bullet train, those who bring oversized baggage (overall dimensions of more than 160cm) need to reserve special seats.
- Credit cards are widely used in Japan, but we recommend that you exchange a small amount of Japanese yen at the airport. Please note that at the Expo site, only credit cards and debit cards are accepted (cash cannot be used).
- We plan to prepare SIM cards for the invitees and **accompany people** during the stay in Japan.

# Basic Information on Japan (1)

- All invitees are automatically insured under the Overseas Travel Accident Insurance Policy of Sompo Japan Insurance Inc. (Please note that accompanying persons are not included.)
- Please check this site regarding quarantine upon arrival in Japan.  
[https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/espanol\\_exp.html](https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/espanol_exp.html)  
Bringing in most fruits, vegetables, meat, and meat products is prohibited. Please take care when you bring traditional accessories which is produced by the natural materials. You may not bring those accessories in Japan.

# Information on Accommodations and Meals

## 1. Accommodations

### **Tokyo: Grand Prince Hotel Takanawa**

Access: Five-minutes walk from JR Shinagawa station

URL: <https://www.princehotels.com/takanawa/>

### **Osaka: ANA Crown Plaza Osaka**

Access: Seven-minutes walk from Osaka metro Yodoyabashi station

URL: <https://www.anacrowneplaza-osaka.jp/en/>

### **Hagi: Hagi Honjin**

URL: <https://www.japanican.com/hotel/japan/hagi/hagihonjin>

## 2. Daily meals

- Breakfast will be served at the accommodation.
- Lunch and dinner are arranged by the tour company.
- Invited guests will dine together.

# Request for the participants

- Items which are distributed at the tourism promotion event:  
Please bring your country's brochures and small gifts if you can manage. The following is a rough guideline.
  - Pamphlet: around 100 copies.
  - Small gifts: pin badges, key holders, seals, cards, etc. 100 pieces in total.
- The list of courtesy visits is as follows. Please use this as a reference if you plan to bring gifts: Ms. Sachiko Imoto, Senior Vice President of JICA; Mayor of Hagi City (Hagi City will also prepare simple gifts for each organization)
- The following individuals are cooperating with this invitation program. Please use this list as a reference if you plan to bring gifts: Yoji Otsuki, Director of Hagi Museum; Representative of NPO Hagi Machizū Museum; Professor Kiho Yaoita; Two local guides of Hamazaki Shicchoru Kai
- Schedule in the morning on 27<sup>th</sup> of September: In the morning of 27<sup>th</sup> September, we plan to have a sightseeing tour at the northern part of Osaka, such as the Osaka Castle. Please kindly let us know if you do not wish to join the tour by 10<sup>th</sup> of September.
- Pavilions to be visited on 28<sup>th</sup> of September: please provide your opinions on which pavilions you want to visit in the Osaka Kansai Expo site. Please kindly let us know your opinion by 10<sup>th</sup> of September.

# Contact Information

Name	Organization	E-mail
Makoto Hige (Mr. )	Economic Development Department, JICA	Hige.Makoto@jica.go.jp
Mami Sakurai (Ms.)	JICA expert	msakurai@sica.int
Tomomi Sato (Ms.)	JICA expert	tsato@sica.int
Yoji Sakakibara (Mr.)	Consultant	sakakibara.y@idcj.or.jp
Yumiko Yamada (Ms.)	Consultant	yamada.y@idcj.or.jp
Yoshio Nawa (Mr.)	Consultant	nawa@tottorido.com
Lisa Hirata (Ms.)	Consultant	hirata.r@idcj.or.jp

If you have any questions or concerns, please do not hesitate to contact us.

WhatsApp group for the program→



## 案内文

<p>.All JICA participants are automatically insured under the Overseas Travel Accident Insurance Policy of Sompo Japan Insurance Inc.</p> <p>The following policy summary briefly describes the benefits you may receive if you suffer accidental bodily injury or sickness</p> <p>If you have any questions on this insurance, please ask the officer in charge of the JICA.</p>	<p>全ての研修員は損保ジャパン株式会社との契約に基づいた海外旅行保険に加入しております。</p> <p>以下にあなたが、その身体に怪我を負った場合、または病気になった場合の、その概略を記載しております。</p> <p>もしこの保険で不明な点があれば、JICA 職員にお問い合わせください。</p>
---	---

**Details of coverage given** (保険金の内容)

Insurance	Type of Benefit	Indemnifying Conditions	Amount of Benefit
Accident	Death benefit	The insured dies within 180 days commencing from the date of an accident occurring during the cover period	¥5,000,000 to the beneficiary
	Physical impediment benefit	Physical impediment results within 180 days commencing from the date of an injury caused during the cover period	From 4% to 100% of physical impediment benefit ,according to the predetermined table attached to master policy(¥5,000,000)
	Medical expenses	The insured is treated by a doctor for an injury from accident occurring during the cover period	Up to <b>¥5,000,000</b> for medical and hospitalization expenses actually incurred within 180 days of the date of an accident (in respect of any one accident)
Sickness	Death benefit	1.The insured dies of sickness during covered period 2.The insured dies of sickness contracted during the cover period within 30 days after termination of the covered period directly on account of the sickness; provided that the treatment for the sickness has commended during and continued beyond the termination of such covered period. 3.The insured dies of sickness contracted during the cover period within 30 days after termination of covered period as a direct result of the infectious diseases enumerated in the attached Table and contracted during the covered period.	¥5,000,000 to the beneficiary
	Medical expenses	The insured is treated by a doctor for an injury from accident occurring during the cover period	Up to <b>¥5,000,000</b> for medical and hospitalization expenses actually incurred within 180 days of the date of an accident (in respect of any one illness)
Personal Liability		The insured is legally obligated to pay damages because of bodily injury to any other person or loss of, stain on, injury to or destruction of the property of others during the cover period.	Up to ¥100,000,000 per accident
Rescuer's Expense		1.The insured dies from an injury caused during the covered period within 180 days commencing from the date of the accident or dies of sickness which first manifests itself within the covered period within 30 days after termination of the travel. 2. Confinement of the insured at a hospital or a clinic either for 3 consecutive days or more, directly resulting from bodily injury or sickness which first manifests itself in the covered period. 3. The aircraft or watercraft in which the insured is aboard disappears or meets a mishap. 4. Life or death of the insured who met an accident is uncertain. (Expenses incurred after the insured's safety is ascertained shall not be covered)	Expenses incurred by the policyholder, the insured or the heir-at-law of the insured shall be paid during the covered period and up to the limits provided for in the policy(Up to <b>¥30,000,000</b> ) a. Search and rescue expenses b. Transportation expenses by air, etc. to and from the location of the accident incurred by 3 rescuer only c. Hotel and accommodation expenses incurred at the location or on the way to the location of the accident by rescuers not exceeding 3 (limited to 14 days per rescuer) d. Expenses for repatriating the body of the

			<p>deceased insured from the location of the accident;</p> <p>e. Postmortem treatment expenses not exceeding 1 million yen</p> <p>f. Travel procedure expenses and miscellaneous expenses at the location of the accident not exceeding 1 million yen</p>
Baggage		Loss of or damage to the property insured hereunder caused by accident during the cover period.	Up to ¥100,000-

### Major exclusions (主な免責事由)

- (1) willful act of the policyholder or the insured;
- (2) willful act of a person who is entitled to indemnity but in case such person is entitled to a part of the loss of life indemnity, this exclusion does not apply to the amount which any other person is entitled to;
- (3) suicide or attempt thereof or criminal act of the insured, or acts of aggressive violence initiated by the insured;
- (4) accidents occurring while the insured is driving an automobile or a motor-bicycle without having qualification to drive it in accordance with the laws of the place where the insured drives or when insured operates a motor vehicle under the influence of alcohol, narcotic, hemp, opium, stimulant, thinner, or the like, to the extent the insured may be incapable of controlling the vehicle;
- (5) brain disease or insanity of the insured;
- (6) pregnancy, childbirth, premature birth or miscarriage of the insured or medical or surgical treatment of the insured (except such as may be necessary solely by injuries for which the company will be liable to pay indemnity);
- (7) dental diseases;
- (8) execution of a sentence on the insured;
- (9) war, military act of foreign nations, revolution, insurrection, civil war, armed rebellion or other similar disturbance or riot (for the purpose of this exclusion "riot" means the state of affairs in which national or local good order is seriously disturbed by collective action of a group or groups of persons, and in which a serious threat to peace and order is deemed to exist);
- (10) radioactive, explosive or other hazardous nature of nuclear fuel materials (including spent fuel) or properties contaminated by nuclear fuel materials (including products yielded in the process of nuclear fission), or any accident arising from such nature;
- (11) any accident incidental to exclusions stated in the preceding two subsections, or any accident arising out of the disturbance of good order incidental thereto; or
- (12) any nuclear radiation or radioactive contamination not included in subsection (9) above
- (13) cervical syndrome (so called "whiplash syndrome") or back pain, from any cause, without objective symptom.
- (14) diseases that had before the trip;

Only major exclusions are mentioned above. Other exclusions are listed in the Japanese clause contained in the Overseas Travel Accident Insurance Policy taken out by the JICA. For more details please contact the person in charge of the JICA shown on the back cover of this booklet.

### 3.3. 招へい事業の様子



2025/9/25: ツーリズムエキスポジャパン会場



2025/9/25: ツーリズムエキスポジャパン  
第8回観光大臣会合事前打ち合わせ



2025/9/25: ツーリズムエキスポジャパン  
第8回観光大臣会合



2025/9/25: ツーリズムエキスポジャパン  
第8回観光大臣会合 集合写真



2025/9/26: JICA 表敬時集合写真



2025/9/26: JICA 表敬①



2025/9/26:JICA 表敬②



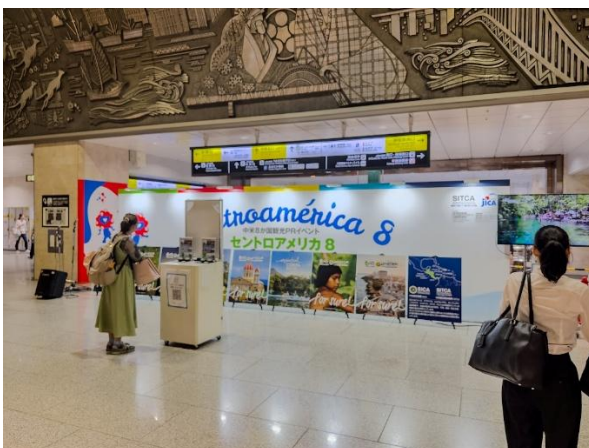
2025/9/26:JICA 表敬③



2025/9/26:レセプション集合写真



2025/9/27：大阪市内観光



2025/9/27：JR 大阪駅旅立ちの広場  
観光プロモーションイベント開始前



2025/9/27：JR 大阪駅旅立ちの広場  
観光プロモーションイベント実施直前の様子



2025/9/27：JR 大阪駅旅立ちの広場  
観光プロモーションイベント実施中の様子①



2025/9/27：JR 大阪駅旅立ちの広場  
観光プロモーションイベント実施中の様子②



2025/9/27：JR 大阪駅旅立ちの広場  
観光プロモーションイベント実施中の様子③



2025/9/27：JR 大阪駅旅立ちの広場  
観光プロモーションイベント実施中の様子④



2025/9/28：大阪・関西万博 commons A 館  
センターステージでのイベント告知



2025/9/28：大阪・関西万博  
ポップアップステージ東内  
イベント案内看板（下段）



2025/9/28：大阪・関西万博  
観光プロモーションイベント  
実施中の様子①



2025/9/28：大阪・関西万博  
観光プロモーションイベント  
実施中の様子②



2025/9/28：大阪・関西万博  
観光プロモーションイベント  
実施中の様子③



2025/9/28：大阪・関西万博  
観光プロモーションイベント  
実施中の様子④



2025/9/28：大阪・関西万博  
観光プロモーションイベント  
実施中の様子⑤



2025/9/28：大阪・関西万博  
集合写真



2025/9/28：大阪・関西万博  
ペルーパビリオン視察



2025/9/28：大阪・関西万博  
ベリーズ視察（コモンズD館内）



2025/9/29：萩博物館 講義



2025/9/29：萩博物館 質疑応答



2025/9/29：萩博物館 集合写真



2025/9/29：堀内武家屋敷まち歩き事前案内



2025/9/29：堀内武家屋敷まち歩き 解説



2025/9/29：堀内武家屋敷まち歩き 解説



2025/9/29：波多野指月窯 訪問



2025/9/29：波多野指月窯 登り窯見学



2025/9/29：波多野指月窯 蹴口ク口実演



2025/9/29：波多野指月窯 集合写真



2025/9/30：浜崎まちあるき



2025/9/30：浜崎まちあるき

まちあるき全体説明



2025/9/30：浜崎まちあるき  
旧小池家土蔵

旧萩藩御船倉



2025/9/30：浜崎まちあるき  
まちあるき中の様子



2025/9/30：浜崎まちあるき  
中村船具店



2025/9/30：浜崎まちあるき  
住吉神社



2025/9/30：NHK 取材



2025/9/30：萩市長表敬 田中文夫氏挨拶



2025/9/30：萩市長表敬



2025/9/30：萩市長表敬 集合写真